

NEWS LETTER NEWS LETTER NEWS LETTER NEWS LETTER NEWS LETTER NEWS LETTER NEWS LETTER NEWS LETTER NEWS LETTER NEWS LETTER

公益財団法人
麻薬・覚せい剤乱用防止センター
Drug Abuse Prevention Center



NEWS LETTER

2016.3・第94号

C O N T E N T S

随想

●監視指導・麻薬対策課長就任にあたって

厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課長 須田俊孝 1

かいせつ

●薬物依存症対策における「家族支援」

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 診断治療開発研究室長 近藤あゆみ 2

●地域における薬物乱用防止教育

～ライオンズクラブの薬物乱用防止教室とこれを支える講師養成講座～ 6

●追悼「故阿部俊三氏を偲んで」

国際薬物規制100年「過去からの物語」 22

●シリーズⅢ「過去に埋もれて：1900年代初頭～国際連盟にて」

シリーズⅣ「過去に埋もれて：1900年代初頭～国際麻薬規制条約体制への道」
(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター理事 藤野 彰 24

●平成27年度 麻薬・覚醒剤乱用防止運動地区大会

..... 32

●平成27年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金状況

..... 33

●センターだより

..... 34

●啓発資材のご案内

..... 35

●ご寄付団体及び賛助会員

..... 36

監視指導・麻薬対策課長就任にあたって

厚生労働省医薬・生活衛生局
監視指導・麻薬対策課長

須田 俊孝

平成27年10月1日に医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課長を拝命いたしました。国民の生命と健康に直結する医薬品等の監視指導及び麻薬等の薬物対策を担当する課の長として責任の重さを改めて実感しております。就任にあたり、今後の所信について述べさせていただきます。

さて、我が国における平成26年の薬物情勢は、薬物事犯による検挙人員は合計約13,000人となっており、このうち覚醒剤事犯は約11,000人と横ばい、大麻事犯については、約1,800人と過去最高を記録した平成21年をピークに減少傾向にあったものが一転増加に転じるなど、依然として憂慮すべき状況にあります。

政府においては薬物乱用の根絶を図るため、平成25年8月に薬物乱用防止対策推進会議において策定された「第四次薬物乱用防止五か年戦略」に基づき、政府を挙げた総合的な対策を行っているところです。

また、平成26年は、危険ドラッグの乱用による健康被害の発生や他者を巻き込む重大な交通事故等が社会問題化したことを受け、同年7月に薬物乱用防止対策推進会議において「危険ドラッグの乱用の根絶のための緊急対策」が策定され、政府一体となつて危険ドラッグ対策を強力に推進しております。

危険ドラッグに対する具体的な対策としては、全国の麻薬取締部が「検査命令」を活用するなど販売店舗の取締を徹底した結果、平成26年3月には21

5店舗存在していた危険ドラッグの販売実店舗を、平成27年7月に全滅させることができました。また、指定薬物の迅速な指定と包括指定により、平成28年1月末現在2,330物質を指定薬物に指定するとともに、インターネットを利用した危険ドラッグ販売サイトへの対策やデリバリー業者への対策、徹底した水際対策等を行ってまいりました。その結果、我が国における危険ドラッグの流通は極めて限定的なものとなりました。今後も、危険ドラッグの撲滅に向けた対策を引き続き推進してまいります。

平成27年11月には、小学生が大麻を吸引するという事件が発生しました。小学生によるこのような事件は近年例がないことから国民の関心も非常に高く大々的に報道されたところです。薬物乱用を防止するためには、特に若年層を対象とした積極的かつ継続的な普及啓発が重要であることから、厚生労働省では、小学6年生の保護者、高校卒業予定者さらには青少年を対象とした普及啓発資料の作成・配布を行うとともに、教育機関などの要請に応じて、講師を派遣して、薬物乱用防止の普及啓発活動を行う啓発訪問事業を実施するとともに、薬物乱用防止の情報や訪問の様子をフェイスブックやツイッターを活用して情報発信等を行っているところです。その他、地域における国民的啓発運動として例年5月1日から6月30日までの間「不正大麻・けし撲滅運動」を実施し、都道府県、各麻薬取締部等の協力を仰ぎな

がら集中的に大麻・けしを除去するとともに、大麻・けしに関する正しい知識の普及を図っております。さらに毎年6月20日から7月19日は「『ダメ。ゼッタイ。』普及運動」として、全国各地で街頭キャンペーン等の啓発・募金活動の実施、更に10月1日から11月30日には「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」として、麻薬・覚醒剤等の恐ろしさ、乱用防止についての知識の普及を図るため全国6都市において、地区大会を開催するなど普及啓発活動を行っております。

また、覚醒剤の再乱用者の比率は平成18年以降年々上昇しており、平成26年の再犯率は64・5%となっております。

そこで厚生労働省では再乱用の防止を図るため、「再乱用防止対策講習会」や「薬物中毒対策連絡会議」を全国6箇所で開催するとともに、小冊子の薬物相談窓口情報を更新して関係機関等に配布したほか、厚生労働省のウェブサイトにおいて情報提供を行うとともに、全国の保健所等での薬物関連相談事業を実施し、関係機関の連携、再乱用防止に関する正しい知識の理解の向上及び専門性の強化を図っているところです。

薬物乱用の根絶を図るためには、取締の徹底を図ることはもちろんのこと、特に若年層を中心とした国民一人一人の薬物根絶意識を醸成することが重要であり、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター、全国の薬物乱用防止指導員、関係団体等の皆様方による地域等での薬物乱用防止普及啓発運動に対するご協力が不可欠です。厚生労働省としても薬物乱用の撲滅に向けて鋭意努力してまいりますので、皆様のご理解、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

「家族支援」

1. 薬物依存症者の回復に家族が及ぼす

影響

薬物依存症対策における家族支援の重要性は、残念ながらわが国ではまだ広く十分に理解されているとはいえない状況にあります。欧米では時代の流れとともに家族に対する関心が徐々に高まりつつあり、これまでに数多くの家族支援アプローチが開発され、効果をあげています。なぜ、欧米でこのように家族支援が注目されるようになったのか、そこには様々な理由があります。

まず、薬物依存症者の多くが、自ら治療や回復のための助けを関係機関に求めようとしないうことがあげられるでしょう。例えば、1990年代に、薬物依存症者の9割以上が治療機関や自助グループに属していないという結果を報告した欧米の研究があるのですが、そのずっと以前から、自ら治療的環境に身を置こうとしない多数の薬物依存症者をいかにして治療につなげるかということは専門家たちの間で問題になっており、その解決の糸口として家族の存在が注目されるようになってきたのです。薬物依存症者は同年代の一般人口と比較して同居の割合が高かったり、また、

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 診断治療開発研究室長

近 藤 あゆみ

連絡を密に取り合ったりと、家族と近い距離にあるということもわかっていて、それはつまり、家族が薬物依存症者に対してなんらかの影響を与える可能性が高い人々であることを意味しているといえるでしょう。さらに、次のような研究結果も報告されています。既に治療機関につながっている薬物依存症者に対して、何が治療につながる契機になったかということインタビュー形式で調査したところ、多くの依存症者が、家族の存在や家族からの働きかけを挙げたというのです³。こういったことから、専門家たちは、家族

の力を活用することによって依存症者本人を早く確実に治療につなげることができるのではないかと期待をもつようになったのです。そして実際に、家族に対して介入を行うことによって、より早く本人を治療につなげることができることがわかっています⁴。

治療につなげる以外にも、家族に期待される大きな役割がもうひとつあります。それは、再発することも多いといわれている薬物依存症者の治療予後をより良いものにするということなのですが、この点についても、家族の働きかけによって、薬

物依存症者の回復に良い影響を及ぼし得ることが過去の研究により検証されています^{5,6}。

2. 家族支援の現状

家族に対する相談支援を行う機関としては、精神科病院、精神保健福祉センター、保健所などが挙げられます。その中でも特に中心的な役割が期待されている精神保健福祉センターを対象として2010年に実施した調査⁷では、9割以上（93・6%）が薬物依存症者をもつ家族に対する個別相談を実施していると回答していたものの、前年度の新規相談件数をみると、6割以上（63・6%）が10件未満と非常に少なく、50件以上と回答した機関は全体のわずか6・8%に過ぎませんでした。また、薬物依存症者をもつ家族を対象とした家族教室を実施している機関は約半数（55・3%）でしたが、その実施頻度については、1ヶ月に1度以下がそのうちの約7割（69・2%）を占めているという状況でした。

また、ダルク家族会に参加する当事者家族を対象とした調査⁸によると、家族が薬物問題を確認してから初めて関係機関に相談に訪れるまでに、

平均約3年間（38・7ヶ月）を要していることが明らかになっています。家族が相談に訪れる時期が遅れがちな理由としては、専門機関の周知不足の他に、家族が抱く守秘に関する不安などが考えられるでしょう。こちらでもダルク家族会を対象としたインタビュー調査によると、家族が抱える様々な困難のひとつに、「援助・治療機関に関する問題」が挙げられていて、守秘への不安があり相談が困難であることや、相談にいても具体性のない対応をされた経験があることなどが語られています。

このように、薬物依存症者をもつ家族に対する相談支援体制はまだ不十分であり、人材の育成、マンパワーの充実、周知の徹底など今後の課題を数多く抱えています。

3. 家族支援の新しい波

近年世界的に注目されている家族支援方法のひとつ「Community Reinforcement and Family Training (CRAFT)」というものがあります。これは、Community-Reinforcement Approach (CRA) という依存症者本人の治療法から派生した家族支援の方法で¹⁰、3つの大きな目標を掲げており、目標を達成するための8つの構成要素からなり成っています（表1）。この方法により、短期間で依存症者を治療につなげ、また、家族の身体的及び心理的健康を改善できることが報告されています⁴。近年CRAFT関連の書籍の邦訳が進められていることもあり^{11,12}、わが

国における家族支援の新しい方法論のひとつとして定着していきそうです。

わが国におけるもうひとつの新しい動きとして、筆者らが開発した「薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム」があります¹³。こちらは家族教室など集団心理教育の場を通して家族に働きかけ変化を促すための教材で、上記のCRAFTを含め、近年の欧米の家族支援の要素を取り込んで作成しました。重要な事柄のみをまとめた基礎教材4種類と、6種類の補強教材から成るプログラムですが、今回は基礎教材の目標を表2にお示しします。こちらのプログラムも少しずつ普及が進みつつあり、精神保健福祉センターなどの機関で活用されはじめています。

4. 家族支援のさらなる充実に向けて

現在法務省では、「刑の一部執行猶予制度」の施行に向けて薬物依存のある保護観察対象者等に対する処遇の充実・強化をはかるための様々な取り組みを行っており、その一環として家族支援にも力を入れています。また、厚生労働省でも、これまで行ってきた地域依存症対策支援事業における家族支援員の配置などに加え、平成27年は新たに依存症家族支援対策事業を実施し、精神保健福祉センターにおける家族支援の充実を目指すこととしています。

わが国でも少しずつ家族支援の重要性に対する認識が高まりつつある中、国の依存症対策に欧米から流入する新しい方法論が上手に取り込まれ、

表1 CRAFTの目標と構成要素

目標
1. 依存症者が治療を受ける気持ちになる。
2. 依存症者が治療を受ける気持ちになるまでの間にできるだけ物質使用を減らす。
3. 依存症者の状態に左右されずに家族の生活の質を高める。
構成要素
1. 家族の動機を高める。
2. 依存症者の物質使用を詳細に分析し、その表を完成させる。
3. 依存症者からの暴力に備える。
4. コミュニケーション・スキルを改善する。
5. 依存症者の望ましい行動を強化する。
6. 依存症者の望ましくない行動を減らす。
7. 家族の生活の質を高める。
8. 治療の提案をするための準備をする。

表2 薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラムの目標（基礎教材）

基礎教材 1. 薬物依存症とは
1. 薬物依存症とはどういう病気か理解できる。
2. 薬物のもたらす影響（正と負の効果）を知ることができる。
3. 薬物依存症の仕組みを理解できる。
4. 依存症からの回復には、薬物をやめるだけではなく、4つの面（身体—心—社会活動（仕事や家族）—生きがい）すべての回復が必要なことを知ることができる。
基礎教材 2. 上手なコミュニケーションで本人を治療につなげる
1. 薬物依存症者の回復を支援使用する家族にとって、コミュニケーションスキルの向上が重要である理由が理解できる。
2. 回復を支援するのに役立つコミュニケーションのパターンを発見し、回復に役立つコミュニケーションのパターンに変えていくことができる。
3. 回復に役立つコミュニケーションの基本を踏まえて、本人に治療に関する提案ができるようになる。
基礎教材 3. 長期的な回復を支え、再発・再使用に備える
1. 薬物依存症者が治療につながった後も続く長期的な回復の過程について理解できる。
2. 長く続く回復の過程を支えるために、家族が本人にどのように関わるとよいか理解できる。
3. 薬物依存症者が「依存症の考え」と「自律的な考え方」の2つをもっていることを知り、依存症の考えを刺激しないで、自律的な考え方を増やす関わり方について考えることができる。
4. 薬物の再使用・再発がどのように起きるかについて知り、家族としてどのように支援できるか考えられるようになる。
5. 回復の途中で再使用を繰り返すことも多いが、それに振り回されず、長期的な回復を援助していくことの大切さを知ることができる。
6. 本人の回復を援助する具体的なコミュニケーションの方法を知り、実践できるようになる。
基礎教材 4. 家族のセルフケア
1. 薬物依存症者の回復を支援する家族にとってセルフケアが重要であることを理解できる。
2. 家族が既に持っているセルフケアの技術について確認する。
3. 新たに取り入れた方が良い支援について家族自身が理解し、それを求められるようになる。

質量ともに今後の家族支援が充実していくことに大きな期待を寄せているところですが、どの機関がどのような方法で家族支援を行うかということに加えて、家族支援を行う諸機関の連携体制構築の視点を忘れてはならないと思います。特に、薬物依存症の領域では、矯正・更生保護に携わる機関と地域の医療保健福祉機関、自助組織などとの有機的なネットワーク形成が不可欠です。その中で継続的にしっかりと家族を支えていくことできるサポートネットワークシステムを構築することが重要です。

5. 引用文献

- ¹ Sobell, L.C., Cunningham, J.A., Sobel, M.B.: Recovery from alcohol problems with and without treatment: Prevalence in two population surveys. American Journal Public Health, 86: 966-972, 1996.
- ² Stanton, M.D., Heath, A.W.: Family/couples approaches to treatment engagement and therapy. Lowinson, J., Ruiz, P., Millman, R.B., Langrod, J., eds.: Substance Abuse: A Comprehensive Textbook. Lippincott Williams, & Wilkins, Baltimore, 680-690, 2004.
- ³ Marlowe, D.B., Merikle, E.P., Kirby, K.C., et al.: Multidimensional assessment of perceived treatment-entry pressures among substance abusers. Psychology of Addictive

Behaviors, 15: 97-108, 2001.

4. Roozen HG, de Waart R, van der Kroft P.: Community reinforcement and family training: an effective option to engage treatment-resistant substance-abusing individuals in treatment. *Addiction*. 105(10): 1729-38, 2010.
5. Higgins ST, Budney AJ. Participation of significant others in out-patient behavioural treatment predicts greater cocaine abstinence. *Am J Drug Alcohol Abuse*, 201: 47-56, 1994.

6. Peyrovi H, Seyedfatemi N, Jalali A: The Role of Family Atmosphere in the Relapse Behavior of Iranian Opiate Users: a Qualitative Study. *J Caring Sci*. 4(3): 189-96, 2015.

7. 近藤あゆみ：第1章 薬物依存症者の家族がもつ多様なニーズを満たすための家族心理教育プログラムの開発に関する研究―薬物依存症者をもつ家族の支援を行う関係機関職員を対象とした調査結果から―：社会福祉の可能性（新潟医療福祉大学社会福祉学部編），pp1-12，相川書房，2011.

8. 近藤あゆみ，小松崎未知：薬物依存者に対するその家族の対応法に関する研究，平成17年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）「薬物乱用・依存等の実態把握と乱用・依存者に対する対応策に関する研究」，2006.

9. 近藤あゆみ，小松崎未知：薬物依存者に対する

るその家族の対応法に関する研究，平成18年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）「薬物乱用・依存等の実態把握と乱用・依存者に対する対応策に関する研究」，2007.

10. Meyers RJ, Roozen HG, Smith JE.: The community reinforcement approach: an update of the evidence. *Alcohol Res Health*, 33(4): 380-8, 2011.

11. シェーン・ヘレン・スミス，ロバート・J・メイヤーズ：CRAFT依存症患者への治療動機づけ家族と治療者のためのプログラムとマニュアル，境 泉洋，原井宏明，杉山雅彦 監訳，金剛出版，東京，2012.

12. ロバート・メイヤーズ，ブレンダ・ウォルフ：CRAFT依存症患者家族のための対応ハンドブック，松本 俊彦，吉田 精次，渋谷 繭子 翻訳，金剛出版，東京，2013.

13. 近藤あゆみ，高橋郁絵，森田展彰：【依存と嗜癖】依存症の支援 依存症者をもつ家族に対する心理教育，こころの科学，182，73-75，2015.



「公益財団法人JKA競輪補助事業完了のお知らせ」

この度、平成27年度の競輪の補助を受けて、左記の事業を完了いたしました。

本事業の実施により、青少年の薬物乱用に対する危険意識を高め、薬物乱用の予防啓発活動上大きな効果がありました。

記

事業名 平成27年度 青少年の健全な成長を育む活動補助事業

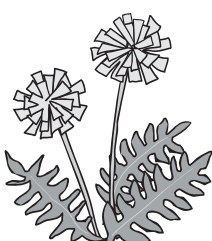
事業内容

- (1) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の啓発メッセージ映像の作成・配布
- (2) 情報誌「ニュースレター」の発行・配布

補助金額 657,140円

実施場所 東京都港区虎ノ門2-7-9

完了年月日 2015年8月31日



～ライオンズクラブの 薬物乱用防止教室とこれを支える講師養成講座～



青少年に対する薬物乱用防止教育は、薬物乱用に染まる前の早い時期から行うことが重要であるという考えから、従前より児童生徒に対する予防啓発については学校を中心にその推進が図られてきました

このことは、平成25年8月に国の薬物乱用防止対策推進会議が策定した「第四次薬物乱用防止五か年戦略」においても、引き続き青少年に対する薬物乱用防止教育の必要性が強調され、文部科学省において小中学校、高等学校における「薬物乱用防止教室」の充実強化が進められています。

しかし、こうした学校における薬物乱用防止教育を各地域で展開するためには、数多くの指導者、講師が必要となります。

ライオンズクラブ国際協会と当財団は、こうした要請に応え、学校における薬物乱用防止教育にボランティアとして参加するため、ライオンズクラブ会員を主たる対象とした実践的な「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」を平成9年度に共同で開催し、以降、現在までに多数の講師を養成してきました。

ここで誕生した講師は、地域の薬物乱用防止啓発活動の有効な戦力として、地域の小中学校等で開催される「薬物乱用防止教室」に参加し、青少年に薬物乱用の恐ろしさを語り、『薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」』を合言葉に日々、青少年の健全育成に努めています。

◆薬物乱用防止教育認定講師養成講座の概要

・主 催…ライオンズクラブ国際協会

(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター

・後 援…内閣府、厚生労働省、警察庁、文部科学省

・開催場所…ライオンズクラブ国際協会35地区キャビネット

ごとに開催。

地域における薬物乱用防止教育



薬物乱用防止教育認定講師養成講座・プログラム例

- 1 開会
- 2 映像講座 薬物乱用防止教育DVD
(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター制作
- 3 基礎講座「医学知識」「薬物乱用と身体への影響」
- 4 専門講座「行政事情1」「薬物犯罪等の現況」
都道府県警察本部・組織犯罪対策課
- 5 専門講座「行政事情2」「薬物乱用防止教育の現況」
都道府県教育委員会
- 6 専門講座「行政事情3」「県の取り組みと課題」
都道府県薬務課
- 7 専門講座「実践講座」
「ライオンズクラブにおける薬物乱用防止活動の実践」
- 8 講評
- 9 閉会

以下に、ライオンズクラブ国際協会337-A地区と当財団が平成27年12月7日に共催した「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」の状況及び日立中央ライオンズクラブにおける「薬物乱用防止教室」の状況についてご紹介します。

- ・ 参加対象…主として、地区内のライオンズクラブ会員を中心として受講者を募集しますが、例外的に保健所から推薦された薬物乱用防止指導員、学校の教員・PTA等、大学生も含まれています。
 - ・ 講義プログラム…別表「プログラム例」のとおり
- 本年度は45会場の開催を予定。このうち、大学生を対象とした講座を4会場で実施。

ライオンズクラブ国際協会337-A地区（2015～2016年度） 薬物乱用防止教育認定講師養成講座の開催状況

平成27年12月7日（月）アクロス福岡（7階大会議室）において、ライオンズクラブ国際協会337-A地区と当財団が共催する「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」が開催されました。



講座は、開会挨拶に続き、当財団作成の啓発用DVD「愛する自分を大切に！薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」を視聴した後、基礎講座（医学知識）、専門講座（行政事情①、行政事情②）、実践講座の順で講義が行われました。

専門講座（行政事情）では、福岡県警察本部担当官より「薬物犯罪等の現状」と題して、福岡県における薬物乱用の取締りの状況について具体的な事例を盛り込んだ講義が行われました。続いて、福岡県保健医療介護部薬務課担当官より「福岡県の薬物乱用対策の取組」と題して、①シンナー、覚醒剤・大麻（国内・県内の乱用状況）、②危険ドラッグ（危険ドラッグの概要、法規制、国の取り組み、国内及び県内の乱用状況）、③福岡県の取り組み（啓発、指導及び取締、福岡県薬物濫用防止条例）について、それぞれ詳細な講義が行われました。

最後の実践講座では、館親光講師（330-A地区東京葛飾ライオンズクラブ）より「ライオンズクラブにおける薬物乱用防止活動について」と題して、平成16年から現在まで小・中学校合わせて255校の薬物乱用防止教室講師を務めた実績と経験から生み出された「薬物乱用防止教室 授業のキーポイント」について、ホワイトボードを駆使した分かり易い講義が行われました。

また、基礎講座では、万本講師（医学博士、333-E地区土浦環ライオンズクラブ）より「薬物乱用と身体への影響」と題して、医学知識に関する講義が行われました。
次に、その講義内容の一部を当財団で取りまとめましたのでご紹介いたします。



基礎講座（医学知識）

「薬物乱用と身体への影響」

講師

薬物乱用防止教育認定講師

333-E地区土浦環ライオンズクラブ

医学博士

L・万本 盛三

注：本記事は平成27年12月7日（月）福岡市アクロス福岡で行われた薬物乱用防止教育認定講師養成講座における万本講師の講演内容の一部を当財団で取りまとめたものです。

◆薬物乱用とは

薬物乱用の心身への影響、特に「脳」についてお話しします。

薬物乱用とは、社会のルールから外れた目的や方法で薬物を使うことです。覚醒剤、麻薬、大麻は使用することはもちろん、持っていることも厳しく規制されているので、一度でも使うと乱用であり犯罪である。これが大事です。一度でも使うことは「ダメ。」ということをお子たちに徹底させていただきたいと思っています。

といいますのも、

ここに中・高校生の乱用薬物に対する意識調査があります。薬物に対する印象を聞きました。「1回使うくらいであれば、心や体への害はない」と思っている高校生は100人のうち3人です。100人のうちの3人というと、

中・高校生の乱用薬物に対する意識

薬物への印象（複数回答）	中学1年生		中学2年生		中学3年生		高校1年生		高校2年生		高校3年生	
(%)	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1.かっこいい	11	08	11	09	13	08	10	06	13	06	13	06
2.気持ちよくなくなる気がする	85	102	103	121	117	123	136	120	149	120	170	122
3.ダイエットに効果がある	17	55	21	73	28	81	24	75	22	76	26	85
4.服薬量以上に効果がある	21	28	17	35	21	31	22	30	23	20	30	27
5.1回使うくらいであれば、心や体への害はない	18	28	25	26	23	23	18	26	20	30	17	
6.心や体に害がある	68.6	76.7	68.4	78.9	71.0	78.6	71.2	79.1	70.1	78.8	67.8	80.4
7.犯罪に巻き込まれる	57.8	61.2	59.3	63.1	59.0	60.8	58.6	60.7	57.1	58.3	57.2	61.4
8.使ったり、持っているのは悪いことだ	68.5	75.0	65.9	72.6	65.3	71.9	59.9	69.4	57.2	67.9	55.6	70.7
9.1回でも使うと止められなくなる	68.5	75.9	72.7	81.7	74.5	83.1	75.8	84.4	75.0	84.1	73.1	84.7
10.特になし	8.9	4.8	9.4	4.1	8.4	4.0	8.4	3.7	8.0	4.1	9.4	3.1
無回答者数	37	8	23	9	12	6	7	11	13	9	22	5
回答者数	4593	4427	4902	4313	4587	4431	5159	5122	5018	4909	4786	4825

少ない数と思うかもしれませんが、1万人に300人、10万人で3,000人です。我が国では毎年高校を卒業して進学する子が30万人とされていますので、毎年9,000人の子が1回くらいなら構わないといって進学します。そして、大学で簡単に大麻を使ってしまうことになります。

◆薬物は持っているだけでもダメ！

薬物は持っているだけでもダメです。大麻を栽培すると7年間の懲役になります。今問題になっている危険ドラッグは罰金300万円です。

中学生になったら、こういう重大な犯罪であるということをしっかりと教えてくだい。

◆最初に手を出した薬物はシンナー

覚醒剤を使った人が最初に手にした薬

持っているだけでも ダメ !!

- ・覚せい剤 所持＝10年以下の懲役
- ・あへん 所持＝7年以下の懲役
- ・大麻 所持＝5年以下の懲役
栽培＝7年以下の懲役
- ・シンナー
使用目的所持＝1年以下の懲役
罰金40万
- ・危険ドラッグ 所持・使用・購入
＝3年以下の懲役・罰金300万

物は何かといいますと、これは昔から有機溶剤、シンナーです。それがずっと増えていきましたが最近では減ってきました。減ってきたのは何故かというと、ほかの薬物です。危険ドラッグ。それと最近出だしたのが、シバガスと言われるものです。そういう薬物から始まって、その次に覚醒剤とか大麻に走るわけです。

シンナー遊びをする年齢というのは、これは決まっています。14歳、15歳、16歳、中学2年、中学3年、高校1年です。せっかく中学・高校に入っても家庭にも、学校にも居場所がないという子供がいます。そういう子はどこに行くか。コンビニ、ゲームセンター、カラオケに行きます。そこで先輩、仲間にシンナーを誘われるのです。

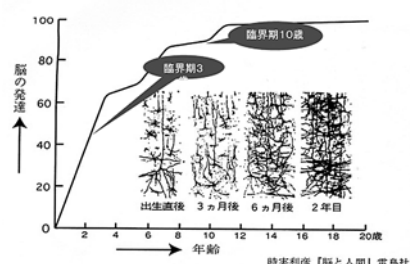
一度シンナーを乱用してしまうと、その後つきあう相手が決まってしまうのです。70%が逮捕・補導歴のある者つきあっています。そうすると罪を犯す確率が高くなってきます。

シンナーを乱用すると、歯がぼろぼろになり脳が萎縮してしまいます。シンナーは油を溶かす作用があります。我々の脳神経細胞というのは70%脂肪でできています。ですから、シンナー乱用者の脳に空洞ができてしまう現象が起こります。

◆入門ドラッグは酒・タバコ

こういう薬物に走る前に、その前の入

20歳までは脳が成長しつづける大事な時期
＝だからタバコ・アルコールはダメ！



門ドラッグと言われているのは酒、タバコです。

アルコールは脳を萎縮させてしまします。萎縮する程度というのは、その人の飲んだアルコールの量によって決まります。次に、タバコです。これも脳に影響します。

◆危険ドラッグについて

危険ドラッグは手軽に手に入るので、若い人が大麻や覚醒剤の代わりに乱用して、気が付けば依存症は全国で40万人にのぼるという推定があります。

危険ドラッグというのは簡単に言いますと、既存の違法薬物の科学構造式を一部変更することで法令による規制を回避したものです。

乾燥した植物片に合成カンナビノドをまぜた脱法ハーブが世界的に流行したのが今から5年ぐらい前の2010年です。そのころ米国の大学生は、14・3%使用経験がありました。中毒センターに有害情報が集まりまして、特徴的なのは、攻撃的行動です。時に痙攣して心臓がとまってしまったという報告があります。日本には販売店が一時は900店もあるといわれていたのですが、取締の強化により、あっという間にゼロになりました。

◆今、気をつける薬物は

今、皆さんが気をつけなくてはいけないのは、危険ドラッグを販売する販売店が全国から絶滅したかわりにインターネットで「シバガス、リキッドアロマ（絶賛発売中）」等」と若者が興味を引くような広告により販売されています。

リキッドガス、シバガスとして販売されているのは、自転車タイヤ用の空気圧を高めるもので小さな缶やボンベに入っていますがこれには笑気ガスが入っ

ています。

2年ぐらい前からロンドンで始まった遊びがあります。これは笑気ガスをゴム風船に入れて吸うことにより陶酔感を味わうものですが、外国ではヒッピークラックと呼ばれ死亡例がたくさん出ています。

それで、厚労省から全国に注意の呼びかけをしています。これから流行るので気をつけていただきたいと思います。

◆脳への影響

生まれてきた赤ちゃんは、すでに大人と同じ数の脳神経細胞を持っていますが、神経のネットワークは繋がっていません。0歳から3歳までに50%が繋がります。この3歳までの環境が非常に大事になります。この時期に親、兄弟の話し言葉を聞いて言語を理解していくわけです。ところが、そのかわりに、子守をテレビ任せにされた子供は悲劇です。テレビからの大量の情報が脳に入りますから、その子は後で苦労することになります。10歳まで育てば基本的な生活ができるわけですから、将来も大丈夫ですけれども、10歳から20歳まで、まだまだ脳が成長し続ける大事な時期です。

だから、「君たち中学・高校生は、酒・タバコは禁止されていますよ。」と、これは皆さんの言葉で伝えていただきたいと思います。



◆大脳の3層構造

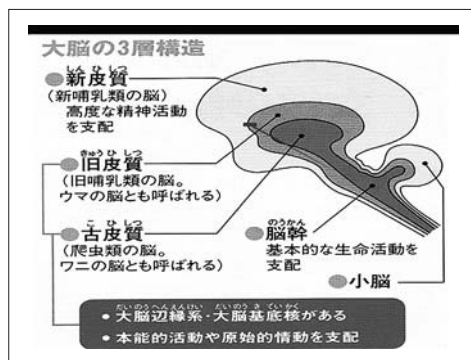
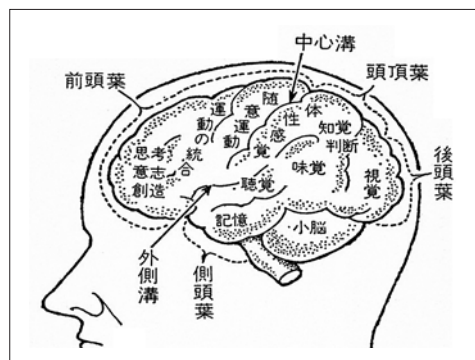
簡単に薬物の影響を受ける我々の脳は、新皮質、旧皮質、古皮質の三つの層に分かれています。旧皮質と古皮質のところは、私たちの基本的な生命活動を支配しているところです。

「ワニの脳」といわれています。その上にある「馬の脳」というのは、動物の本能、食欲、性欲、集団欲等の感情を担当する脳です。人間の行動の根源はここから始まるわけです。

時に興奮して暴走しそうになりますが、これを抑えているのが我々にとって大事な「人の脳」です。乱用される薬物は、全てこの「馬の脳」を興奮させます。欲望を高める効果。しかも、「人の脳」の働きを悪くするのが共通した乱用薬物の特徴です。

◆脳のはたらき

脳の後ろの方が視覚を担当している脳、真ん中辺は聴覚を担当している脳。脳の上のほうは感覚や運動を担当している脳。そして、前頭部は人間にとって大事な、物事を考える、物事をやり遂げる、物事



をつくり出す、思考、意思、創造といった働きをする前頭葉があります。乱用薬物はこの重要な部位である前頭葉の働きを悪くして、そのかわり視覚とか聴覚、こういった脳の感覚を非常に高めることになります。そのために見えなかったものが見えたり、聞こえないものが聞こえたりする幻視、幻聴といったことが起きます。

男性も女性も同じような脳の格好をしています。ただ、1つ違うところは真ん中辺、弓状になっているところです。これが女性のほうが男性よりも2倍も太い。ここは何があるかといいますと、左の脳と右脳をつないでいる神経回路が通っている脳です。ですから、女性のほうが男性よりも2倍も脳の働きがいいということになります。男性が幾ら頑張っても女性にはかなわないということになります。女性の方は自信を持っていろいろな活動をこれから、特に奉仕活動に努めていただきたいと思います。

脳が担当している体の部分の大きさを比較すると、比重が大きいのが、顔。舌。そして手足の指です。ですから、我々の脳を発達させるのには、「友達と大いにしゃべり」、「おいしいものを食べ」、「指を大いに動かす」。特に親指です。パチンコをするとうさそうです。

◆神経伝達物質

子供たちの人気のゲーム脳です。積み木合わせ、格闘アクション、カーレース、どれもおもしろいです。でも、働いているのは、視覚を担当している脳が少し動いているだけです。人としての大事な前頭葉は働いていません。それよりも、何もしないで目をあける。目をあけているだけで刺激が入ってきますから、自分でこれから何をしようと、自分の脳で

考えるわけです。ですから、テレビをただ見ているよりも、塗り絵をしたり、読書したり、指を動かしたり、なぞり書きをするほうが良いことになります。こういった働きをしているのが神経伝達物質です。25種類ほど今わかっていきますけども、とりあえず、きょうはドーパミンという言葉だけ頭に入れて帰ってください。

ドーパミンは我々に元気を与えたり喜びを与えたり、陶酔感を与えたりしてくれる物質です。問題なのは、覚醒剤のアンフェタミン、メタンフェタミンと形が似ていることです。ですから、我々の脳は簡単に覚醒剤を頭に、我々の体に入れてしまいます。

◆乱用される危険のある薬物の共通した性質

乱用される危険のある薬物はいろいろあります。これは一々覚える必要ありません。ただ、共通した性質があります。一度使うとやめられなくなってしまう。依存性が非常に強いということです。なぜ依存症になってしまうのか、今のところわかっていないことは、我々の脳の中に刺激を受けるとドーパミン、快感物質を出す神経が2本走っているのがわかっています。

皆さんもおもしろいものを食べたり、いい音楽を聞いたり、いい映画を見たりすると、ここから大量に出ます。何か苦労して仕事をやり遂げたとなると、前頭葉から大量のドーパミンが出ます。苦勞して学校へ行って、薬物乱用防止教室をして、それが子供たちに受けた。それで達成感を味わいますと大量のドーパミンが出ます。それが脳に刻み込まれて、皆さんも薬物乱用を志向し、依存症になることができます。

ところが、コカインとか覚醒剤、モルヒネ、これ

はそういった喜び以上に、もう何千倍、何万倍もドーパミン神経を興奮させてしまい、様々な障害が生じてきます。

◆コカイン中毒者の脳

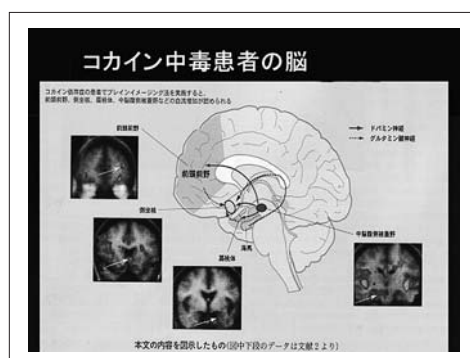
これは、今、コカ

インをやめて幻覚、妄想とか起きていない患者さんです。その人にコカインを使ったときの場所とか薬の色とか道具とかそれを頭に浮かべても、それだけで、その人の快感神経が各所で刺激されて興奮していくことになります。そして、そのうち、薬が欲しい、薬が欲しい、欲望がどんどん高まって、「人の脳」がそれを制御できない。そして、人を殺してでも薬物をとってくる薬物探索行動を起こすことになります。これが一番怖いわけです。

◆最後に皆さんにお願いしたいのは、

「薬物は、一度でも乱用すると皆さんの脳が破壊されてしまいますよ。」

この一言だけ子供たちに伝えていただければ良いと思います。



私の薬物乱用防止講演15年、笑いと涙

日立中央ライオンズクラブ 茨城県薬物乱用防止指導員 柴田 正四郎

「サーサーお立会い御用とお忙しくない方は
ゆっくりと聞いておいで」

15年前私は約650名の中学生の前で、初めての「薬物乱用防止講演」を開始しました。子供達の中には60歳に近い私はどの様に見えていたのでしょうか。

誰でも経験する最初の講演は、自分で原稿を作り、チェックし、何度も読み返し、万全の準備をしたはずなのに、沢山のきらきら光る目を見たときに、暗記した原稿が空の彼方に飛んでいってしまいました。頭の中で考えている言葉と、口から出る言葉が一致しないのです。私に与えられた時間は45分、誰も助けてくれる人はいません。深呼吸をし、子供達の目をしっかり見たとき自分に立ち返ることが出来ました。当時、学校関係にも「薬物乱用防止講演」の必要性は認識されていましたが、一般の人が講演するとは思われていませんでした。この講演に先立ち、校長先生と養護の先生に子供達への防止講演の必要性和講演内容を説明しましたところ、校長先生から「分かりました。講演して下さい。」との承諾を得ての講演です。何とか無事に講演終了しました。その後、先生方々の紹介で、さまざまな学校にて講演をさせていただきました。

私の所属しているライオンズクラブでは全国に「薬物乱用防止講師養成講座」が開設され、毎年多くの講師が誕生しています。

◆講演後半、魔の20分

講演開始から一年、子供達を観察する余裕が出来ました。講演が開始するのは午後1時と設定される事が多いのですが、子供達にとっては、お昼休みの後です。薬物乱用防止講演は、要約すると「これをやってはダメ、あれをやってもダメ、薬物は一生をダメにする」と、多くの言葉は否定語が多く、あまり面白くないのが現実です。

子供達は開始2分過ぎから、だんだん姿勢が前屈みになります。これは講師がいくら面白い話をして、なかなか難しい問題です。

今のようにDVD、ビデオも無い時です。色々な図表、写真を使用して講演後半、魔の20分を頑張ってもなかなか改善しませんでした。

◆油売り口上を講演に

ある日新聞に「筑波山ガマ口上保存会」から口上士募集の記事を読み、これは面白いと無謀にも申し込みました。それから2ヶ月講習を受けまして、土日の筑波山詣でが始まりました。朝7時半に車で家を出て、高速に乗り9時に筑波山神社到着、着物に

着替えて、袴に刀を差し、下駄を履いて出陣し、仲間が待つ広場に出かけます。

こうして観光に来て下さるお客様を待ちます。バスのお客様は大体30〜40名でこの人達を前に「サーサーお立ち会い」と口上を開始し、約15分間の独演です。すばらしい口上には拍手喝采があり、なれない口上には冷たい視線、そして残念な事に最後まで聞かずに「さよーなら」と退席されることも。お願い最後まで聞いてくださいと心の中で叫びますが心は通じません。

厳しい世界に揉まれて約2年半、150回超えの実践でやっと口上士の試験を受けます。合格しまして、「筑波笑四郎」をいただきました。

ここまですてきな観光客の皆さんとも意気投合し、楽しい掛け合いのもと口上が出来ます。

この油売り口上を講演に採り入れることで子供たちを飽きさせず、インパクトの強い、記憶に残るように工夫しています。

◆ライオンズクラブの「薬物乱用防止認定講師」

さて、ライオンズクラブの「薬物乱用防止認定講師」も充実してきました。

地域のライオンズメンバーも、お金を掛けて認定講師の資格を持っても活躍の場が無いと宝の持ち腐れです。認定講師の更新は、3年毎です。活躍しないまま次の講習を受けることになりやすと受講料が無駄になります。先生方からの紹介で講演依頼が多くなり、何としても、私と一緒にやる相棒が必要になりました。

そして、私の所属する日立中央ライオンズクラブに待望の認定講師が誕生しました。それは年齢が私

より一回り若い青木さんです。二人で始めたのは、地域のライオンズメンバーの有志による、「実践話せる認定講師勉強会」です。開始から2年で勉強会を5回開催し、参加者全員に講演を実践してもらいました。メンバーの意気込みが強くなり、その後高校で7クラス同時に講演開始できるようになったのは大きな成果だと思っています。

私の講演目的は「子供を薬物から守りたい」という思いからです。多くの子供が薬物の誘惑に負けたなら、私達の家庭も、地域も、そして日本も暴力が支配する無残な世界になります。私達の薬物乱用防止講演で一人でも、二人でも薬物から救うことが出来れば大成功と思っています。

◆アメリカの病院視察で思ったこと

過日、アメリカ・シアトルにて開催されたライオンズクラブ国際大会に参加しました。その折、鈴木正二さん（ライオンズクラブ顧問）から、薬物乱用者が収容されている病院の見学をすすめられ、同行の藤井さんと共に現地の人に色々調査をしてもらい、目的の病院を決めました。ホテルにてタクシーを手配してもらい、二人で待ちました。タクシーの運転手さんを見て「ヒエー」身長約2メートル、体重約100キロ超堂々とした黒人の運転手さんで、驚いたことも今は良い思い出です。英語の達者な藤井さんが何とか話をして目的の病院に到着し、幸い病院には日本語の分かる職員の方がいて説明をしてくれました。

「この病院に犯罪者は居ません。自分が依存症から脱却するため、自ら希望して治療に来ています。アメリカだけでは無く世界中から患者さんが来ています。」との話です。

その治療は私の想像を超えていました。例えばアルコール依存症の場合、治療時間になると患者さんに好きなアルコールを飲んでもらいます。患者さんが満足した後、病院の用意した薬を飲ませます。薬はそのアルコールに反応して吐く薬です。その薬を飲んでもらい、何度も吐かせる。これを繰り返し、約1週間でアルコールには手を出さないようになるそうです。

これだけでは無く、色々な依存症がありますが、基本的にその薬物に拒絶反応が出るまで体に覚えさせるという治療です。私達が訪問したのは山間の小さな病院でしたが、数年後には規模を大きくする計画が進んでいるとの事です。こういったアメリカの苦悩が、やがて日本でも起こりうると思いました。薬物に関しての対策は、総合的に日本がアメリカの10年遅れで進むと言われています。この様な恐ろしい病院が必要にならないように、薬物乱用防止講演に邁進したいと思っています。

◆薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

“一度だけ”、“一度だけ”、好奇心から乱用する、この最初の“一度だけ”が自分の人生を奈落の底に突き落とします。

一番恐ろしいのは薬物が私達の脳細胞を破壊することです。破壊された脳細胞に再生能力はありません。壊れれば壊れたまま一生を過ごすことになりま。破壊された脳細胞は、自分の体に常に薬物の使用を要求します。思い直して薬物をやめたとしても、次に乱用者の恐怖はフラッシュバックに襲われることです。

フラッシュバックとは、一度でも薬物を乱用した人が、仕事の疲れ、ストレス等で精神のバランスが

崩れたとき、一瞬にして薬物に狂った状態になり、無差別に刃物を振り回し、見ず知らずの人に切り付けたりますのです。

また、車を運転中に薬物を使用した人が意識がなくなり、歩道を暴走し、多くの人を死傷させた、この様な恐ろしい事件があったことはまだ覚えている人も多いと思います。

薬物に狂い殺傷事件を起こした人が警察の取調べに対し、「天が誰でも良いから人を殺せと命じた」などと支離滅裂な事を話し、幻覚・幻聴により完全に狂ってしまうのです。薬物は一度でも絶対使用してはダメです。薬物は持っているだけでも犯罪です。薬物を乱用すると、いつ自分がこの様な恐ろしい狂った状態に一瞬にしているのか、いつも心配しながら生きてゆく事になってしまいます。薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」です。

◆私たちの「薬物乱用防止教室」実践例

次に私達が実践しています、薬物乱用防止教室の様子です。

平成27年11月11日（木）日立市立櫛形小学校6年生と父母・先生合計約230名が参加し、講演時間13…50分、15…25分で行いました。

参加講師は私、青木さん、そして日立ブレイライオンズ6名の皆さんです。

日立ブレイライオンズクラブは茨城県、県北の女性のみで構成されたライオンズクラブです。オリジナルの薬物乱用防止の紙芝居を作成して、共に活躍しています。

体育館に生徒と父兄、先生方が全員集合して開始しますが、事前に、私達は講演機材、パソコン、ス

ピーカー、アンプ、私のガマ口上の小道具等を用意します。

校長先生のあいさつの後、生徒達の司会進行により講演開始です。

最初に私がライオンズクラブの紹介と、なぜ今、薬物乱用防止講演が必要かの話をして、青木さんに代わります。

青木さんは大きなお皿を持って登場。その中にシェービングフォームを噴きかけ、これの種明かしは後でします、と子供達に期待を持たせます。

子供の頃の交通安全教室から例をとり、今なぜ乱用防止講演が必要かを話します。

次にスクリーンに色とりどりの薬物を映し、名前と怖さを説明、さらに気軽さを装うため別の名前で売られていることもあると説明し、注意を促します。そして、断り方のお話に鍋とボールを利用し話を進めます。

人間は突然危険が迫った時、(物が自分に向かってくる、熱いものに触ってしまう)回避する行動をとることが出来ます(自己防衛本能)。薬物の誘いを受けた時、同じように断ってくださいとボールと鍋を使い、子供たちに手伝ってもらいながら説明します。

つまり誘いが来た瞬間に、頑なに断る、逃げる行動をとることになります。

自己肯定感の重要性を伝えるために、「大皿とシェービングフォーム」の種明かしをします。

大皿は心の大きさを、シェービングフォームはモヤモヤ、ストレスを表しています。

心いっぱいにモヤモヤとストレスをためてしまった時に薬物の誘いが来たとしたら、弱った心、自暴

自棄の精神状態は、誘いを受け入れてしまう危険が増大してしまいます。

そうならないためにもモヤモヤを減らし、少しでも自分を大切、自分が好きだと思ふ皆さんでいて下さいと訴えかけます。

そのためには友達と元気に遊び、夢中になれることを持つ、さらには、笑うことを勧めます。本当にふさぎ込んだとき作り笑いでもいい「笑えなくても笑っちゃえ」それが自己肯定感を生み出します。

こうして小道具を使用し、オリジナルのパワーポイントを作成して親切な説明なので、青木さんの講演はいつも大好評です。



次は日立ブルーケライオンズの紙芝居です。体育館で講演するときは、パワーポイントを使用しスクリーンに投影します。

内容は「強くなりたいワン太郎君と痩せてモデルになりたいニャン子さんの物語」です。

ある日、ワン太郎君は強くなる薬をあげる女神、ニャン子さんには美しく痩せる薬をあげる女神が現れます(実は、女神の仮面をかぶった悪魔)。二人とも希望がかなって大喜び、何も知らずに薬を飲みます

初めは、ただで薬をあげていましたが、だんだんお金を要求してきます。二人ともお金が無いためやめようと思いますが、いつの間にか薬物の中毒になってしまったのです。

薬物が無いと苦しくなる二人、初めは自分のお金で買っていましたがお金無くなるとお母さんの財布から持ち出したり、友達から借りて薬物を買うようになり、中毒がひどくなりついに、病院に運ばれました。苦しい、苦しい、薬物をくれーと暴れる二人です。

この台詞を一人一役、効果音を入れながら全員で演じて子供達に感動を与えています。

この物語の結末は…。いつか見られることをお勧めいたします。

最後に着物を着て、袴に刀を差した私が登場します、「ガマの油売り口上」です。

子供達は居眠りしている暇がありません。勿論青木さんと私の作戦です。

薬物防止講演が将来、少しでも記憶に残ってくれることを願って、DVDと話だけの講演から小道具を使用して、子供達に参加してもらう方法を取っています。

「サーサーお立会い御用とお忙しく無い方は聞いておいで」テーブルを扇子でバンバン叩きながら開始です。四、六のガマの説明から、ガマの油の取り方、薬の効用と進みます。



『ガマの油は先ず火傷、槍傷、鉄砲傷、刀傷、擦り傷、切り傷、外傷一般、歯の痛みの直し方、可愛い赤ん坊には薬を使用しないでびっくりする直し方等、何にでも効くといわれても、ガマの油でも効かない物が有る。先ず恋の悩みと、浮気の虫（学校では勉強嫌い）。次は禿げと白髪にも効かない。最後に大事なのは、薬物乱用で壊れた心と体にも効かない。……（長すぎるので省略。）』

腰の刀を抜いての懐紙切、一枚が二枚、二枚が四枚…と128枚まで増えます。最後は自分の刀で自分の左手を切り、ガマの油を使用して、痛み・出血をびたりと止めて見せ、これだけ効くガマの油を売り込みます。さらに、男度胸に、女は愛嬌、坊さんお経に、漬物ラッキョウ、山で驚ホーホケキョ、半額に負けて売り込みます。

これを笑ったり、怒ったりで演じます。

勿論薬物、特にたばこと大麻、覚せい剤の恐ろしさを入れ、インターネットでいたずらにでもアクセスすると、アドレス・名前等が登録されて、後で大きな問題になります。などの話題にもふれます。

油売り口上終了後、子供達のお礼の挨拶、質問受付、時間が無い時は後でお手紙で質問を受け、これで薬物乱用防止講演は終了します。

お手紙による質問と子供達の感想文をご覧下さい。勿論日立中央ライオンズクラブのホームページを訪問下されば、沢山の子供達の夢に会うことが出来ます。



お知らせライオンズクラブ紹介アクティビティー情報行事案内地域情報お問い合わせリンク

日立中央ライオンズクラブ > アクティビティー情報 > 薬物防止 > 薬物乱用防止教室報告・感想文（日立市立榊形小学校）

2015年12月8日

薬物乱用防止教室報告・感想文（日立市立榊形小学校）

カテゴリー：薬物防止

榊形小学校にて薬物乱用防止教室を行いました。

榊形小学校はマンモス校で、6年生5クラスの子供たち162名と父兄の皆さん75名ほどが熱心に耳を傾けてくれました。初めて訪れた学校でしたが、準備・後片付けを積極的に手伝ってくれる。質問も真剣そのもの。など、開校140年の歴史から来るのでしょうか、素晴らしい生徒たちに触れ合うことができ、わたしたちにとっても貴重な時間となりました。

質問も含め、子供たち、父兄の皆さんからの感想文です。ぜひご覧ください。

榊形小感想文
榊形小感想文（保護者）

榊形小学校の皆さんこんにちは
先日の薬物乱用防止教室には皆さんの元気な声に励まされました。
早速お手紙（質問）を頂きまして有難う御座います。

質問1．実際に薬物で死んでしまった人はいますか？
お答えします。
＊MDMAを友達に勧められて飲んだ人が、直後に呼吸困難になり死亡しました。（MDMAは体質によりますが、肺の細胞をどろどろに溶かし呼吸が出来なくなります）
＊危険ドラッグを吸引した人が、突然気を失ってそのまま死亡しました。
＊37歳の土地真二が危険ドラッグを使用して、狂ってしまい、突然両親をナイフで何度も刺して殺害しました。（懲役28年）

質問2．薬物に使用される草はどんな所に生えていますか？
お答えします。
＊危険ドラッグに使用されている草は、どこにでも生えている雑草です。
（NHKにて放映されたところによりますと、中国の道端に生えている雑草を刈り取り乾燥し、粉にしてその中に大麻草の毒成分を混ぜて売っています。草同士の成分が不明、大麻草の毒成分との組み合わせによって時には猛毒の成分が発生して、即死することもあります）

質問3．インターネット以外でも薬物は買うことが出来ますか？
お答えします。
＊普通のお店では売っていません、暴力団などが密輸入して闇の世界で売っているようです。こうして得た悪いお金は、世界の平和な生活を破壊する資金となっております。

質問4．薬物に手を出そうとしている人を止める為に自分達出来ることはありますか？
お答えします。
＊それは「自分の事は自分で守る」ことを話し合い、薬物の危険を色々な機会を得て一緒に調べましょう。部活動に誘い健康な生活に戻る手助けを上げて下さい。
最後は先生、又は大人の人に相談しなければいけません。

質問5．タバコをやめさせる為に、自分達出来ることはありますか？
お答えします。
＊タバコは大人の真似をしてみようと思ってる友達に、言ってあげて下さい。タバコは臭いし子供が吸うと一番「ダサイ」ことを。身長は止まるし、運動は息苦しいし、一番に風邪や肺炎にかかりやすいことを。

質問6．「あへん」って花なんですか？
お答えします。
＊「あへん」は花ではありません。
「あへん」は「けし」の花から作られる禁止薬物です、春になると可愛い「けし」の花が沢山咲きますが、普通これは「あへん」の原料にはなりません。
原料となるのは特殊な「けし」の花です、これは栽培が法律で禁止されています。
「あへん」を使用すると、あっという間に精神面の異常が現れ、廃人同様に成ります。（「あへん」からは癌の痛み止めに使用する「モルヒネ」を作ることが出来ます）
薬物はお医者さんが使用するすれば天国に、一般人が使用すると地獄になります。

「薬物乱用は」ダメ、ゼッタイ。これをしっかり胸に刻みましょう。回答 柴田正四郎

月ごとに見る ARCHIVE

- 2016年2月
- 2016年1月
- 2015年12月
- 2015年11月
- 2015年10月
- 2015年7月
- 2015年5月
- 2015年2月
- 2015年1月
- 2014年12月
- 2014年11月
- 2014年10月

全て表示

カテゴリーごとに見る CATEGORY

- 例会
- ガバナー公式訪問
- ライオンズデー
- 献血活動
- 薬物防止
- 剣道大会
- よかつぱ祭り
- その他

全て表示

ご入会案内

お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ CONTACT

日立中央ライオンズクラブ事務局

〒317-0076
茨城県日立市会期町3-10-2
日立青少年センター分室内

☎ 0294-37-2626
受付日時：火・水・金 9:00～17:00

お問い合わせフォーム

日立中央ライオンズクラブ・ホームページのURL

<http://www.hitachichuo-lc.jp/>

● 15

薬物乱用防止教室(感想)

子どもの声



この前の親子学習会で薬物の事を聞いて、「薬物ってこわいな。」と思いました。薬物を一回だけでも飲むと、やめられなくなるという事が分かりました。ぜったいに薬物には、手を出さないようにしようと思いました。もしも、さそわれても、強い気持ちで断わろうと思います。いろいろな事を教えてくれて、ありがとうございました。

ライオンズクラブとブーケライオンズクラブのみな様へ

先日はぼく達6年生のために、薬物の恐ろしさについて、くわしく教えてくださって、ありがとうございました。

パワーポイントで、イラストや写真がたくさん入っていたのでとてもよく理解できました。

これから悪い誘いがあったときには、この教えを思い出して、決して薬物には近づきません。ありがとうございました。

今日は、親子学習会で薬品が危険ということが、よく分かりました。色々な薬品を教えていただいて、ありがとうございました。

今日は、ありがとうございます。

変な人に〇〇あげるといわれても、すぐ断わったり、すぐ逃げたりしたいと思います。

11月11日櫛形小学校でおこなわれた薬物乱用防止の発表についてはありがとうございました。日立中央ライオンズクラブと日立ブーケライオンズクラブの方たちは分かりやすく説明してくれました。この二つの説明からぼくは絶対薬物は使わないと思いました。分かりやすい説明本当にありがとうございました。

薬物には、いろいろな種類があること、また身近な食べ物の名前がついていることが、わかりました。MDMAのように、みた目がラムネそっくりなものがあるので、だまされないように、気をつけたいと思いました。

薬物を一度でも使用したら二度と、もともにもどれないこともわかりました。

ライオンズクラブのみなさんへ

悪い薬物のことについて教えていただきありがとうございました。

ニュースなどで気になっていたののでいろいろ勉強になりました。これからも薬物に気をつけたいです。

先日は薬物についてのお話をしていただき、ありがとうございました。

薬物はとても怖いもので、人間でなくなるようなものだとなりました。これから誰にどんな形でさそわれても絶対に使いません。

今日は、薬物に関する大切な話を聞かせていただいて、ありがとうございました。

今日の話聞いて、薬物がどれだけ危険なのか、薬物を使用している人がいたり、自分が薬物の使用を進められた時は、どのように対応すれば良いのかなどが分かりました。

ライオンズクラブのみなさんは、私たちが薬物のことについて、楽しく知れるようになべやボール、紙しばいなどを使って、教えてくれたので、とても分かりやすかったです。

これから、薬物に関することがあったら、今日、お話ししていただいたことを思い出して、生かしたいと思います。今日は、本当にありがとうございました。

ぼくは、この話を聞いて、薬物を乱用しては、絶対にやってはいけないということが分かりました。ぼくは色々な薬物があるとは、分かりませんでした。テレビのニュースでやっていたように薬物を乱用すると死にいたんだりすることがあります。知らない人から「これ食べなよ」とか「これおいしいよ」とかいわれても必ず、すぐに、しっかりと断ることが話で分かりました。これからも薬物は、絶対に乱用しないと思いました。

覚えといてな。



飲みすぎ 胸やけ 胃の不快感に

太田胃散 ありがとう いいくすります。



12月13日は「胃に胃散」の日です。



第2類医薬品

Ohta 太田胃散

小林製薬

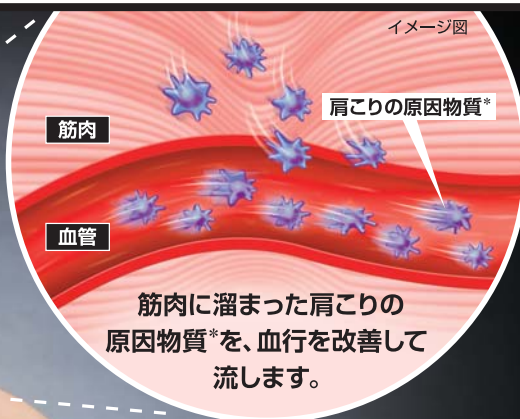
**肩こりに、
血行促進成分が
効く。**

アンメルツは血行を促進して、
肩の筋肉に溜まった肩こりの原因物質*を流し、
肩こりをラクにします。
*肩こりの原因物質＝疲労物質

肩こり、筋肉痛に

NEW アンメルツ 3333 A 第3類医薬品

※使用上の注意をよく読んでご使用ください。 ◎お買い求めはお近くの薬局・薬店・ドラッグストアへ
発売元／小林製薬株式会社 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10 KDX小林道修町ビル
小林製薬お客様相談室 06-6203-3625 (受付時間 9:00～17:00 土・日・祝日を除く) <http://pr.kobayashi.co.jp>



筋肉に溜まった肩こりの
原因物質*を、血行を改善して
流します。



命を救えるゼリーかどうか。



同じに見える服薬ゼリーでも、
命に関わる差があります。

世界初

35ヶ国と1地域で
特許取得

命がけて薬を飲まなければならない人がいます。怖いのは誤嚥による肺炎の発症。ごはん薬をまぶして食べる高齢の方を目の当たりにした時、私たちは命を救える服薬補助剤をつくろうと心に決めました。ただ喉をスムーズに流れるだけでなく、薬が胃に届いた後のことまで考えたゼリーの開発はまさに手探り。飲みやすさと安全性の追求は発売以来18年間も続き、特許を10件も取得できたほどでした。いま、そうして生まれた「らくらく服薬ゼリー」が、医療や介護の現場で歓迎され、お子様の薬嫌いをなくすお手伝いができていることに、私たちは少し胸を張っています。「らくらく服薬ゼリー」は、薬を楽しく安全に飲むための新しい習慣です。服薬ゼリーを選ぶ時はくれぐれもその安全性をお確かめください。

<https://www.ryukakusan.co.jp/>

検索 らくらく服薬ゼリー

—— ご家族ひとりひとりの ——
らくらく[®]服薬ゼリー

新発売

新習慣!

ゴクン! といえば

株式会社 **龍角散**

東京都千代田区東神田 2-5-12
お客様相談室 0120-797-010 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)



らくらく服薬ゼリー
(レモン味)

らくらく服薬ゼリー
スティックタイプ(レモン味)

らくらく服薬ゼリー漢方薬用
(いちごチョコ風味/コーヒゼリー風味)

おくすり飲めたね[®]
(いちご味 / ふどう味 / ビーチ味 / チョコレート味)

らくらく服薬ゼリー
携帯パック(レモン味)

男のニオイ
汗・ベタツキ
徹底洗浄!
【デ・オウ】

ROHTO[®]



新世代
ボディ
ウォッシュ

De/Ou
【デ・オウ】[®]

汗臭 足臭 加齢臭

体臭の予防・皮膚の清浄 ロート薬用デオドラントソープ [医薬部外品]

お問い合わせ先 お客さま安心サポートデスク 東京03-5442-6020 / 大阪06-6758-1230 (9:00~18:00 土・日・祝日を除く)
ロート製薬株式会社 大阪市生野区美西1-8-1

<http://www.rohto.jp/deou/>

胃の働きが
弱ってきたと
感じる方。

キャベジンが、
胃の働く力を
取り戻していきます。



胃を元気にするソヨウを配合しました

キャベジンユーワα

第2類医薬品

●効能・効果／胃部不快感、胃弱、もたれ、胃痛、食べ過ぎ、飲み過ぎ、胸やけ、食欲不振、消化不良、胃酸過多



興和株式会社 興和新薬株式会社 東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

製品のお問合せ: 興和(株)お客様相談センター(Tel.03-3279-7755 受付時間9:00~17:00 土・日・祝日は除く) 詳しくは [キャベジン](#) [検索](#)



Hisamitsu®



貼って、もっと、きもちいい。サロンパス®

この いやす 5月18日は サロンパスの日

肩こり・腰痛・筋肉痛に 第3類医薬品



©この商品に関するお問い合わせは、久光製薬お客様相談室へ。 ☎ 0120-133250 受付時間/9:00~12:00、13:00~17:50 (土・日・祝日を除く) www.hisamitsu.co.jp

サロンパス

検索

「啓発用」

危険ドラッグパネル(4枚組)

販売価格：47,520円 送料：実費



A2サイズ (594×420mm)

新薬物標本

販売価格：29,100円 送料：実費

- ・健康に生きよう
 - ・小学生用読本
 - ・薬物乱用防止マニュアル Q&A
 - ・薬物乱用防止推進の手引き
- の4冊が同梱されます。
啓発活動の資料としてご活用下さい。



監修：(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター
製造元：(株)日本医療器研究所製作

リアルティな薬物標本を手に取りながらの指導は、現実感が強まり迫力が違います。

この度は、薬物乱用防止教室の講和ありがとうございました。改めて、薬物の恐ろしさを知りました。また、講和だけではなく、ブーケライオンズの紙芝居や、ガマの油売りの口上など、子ども達も飽きることなく最後まで、真剣に聞くことができました。

最後の質問で、多くの子ども達が手を挙げていて、もっと話を聞いてみたいという気持ちがあったのだと思います。本当にありがとうございました。

今回6年生の親子学習会で薬物乱用防止の講演を行って頂き、私達保護者もとても勉強になりました。

学習会の前日に、京都の6年生が大麻を吸っていたというニュースが流れ、まさか小学生で!!と、とてもショックでした。子供達には、自分で自分の身を守る知識が必要だと、改めて考えさせられた事件でした。

ライオンズクラブの方々に、薬物がどうして駄目なのかどんなに恐ろしい物なのかを、分かり易く説明して頂き、これから成長していく子供達にとって、とても貴重な時間となりました。今後いろいろな誘惑にあった時に、断る勇氣、自分を大切にする気持ちを持てる人に育ってくれると思います。

今回の講演をきっかけに、家庭でも是非薬物についての話し合いを行おうと思っています。

ライオンズクラブ、ブーケライオンズクラブの皆様へ

先日は、6年生親子学習会 薬物乱用教室へご協力いただきましてありがとうございました。

まさに、学習会当日、6年生が大麻などというニュースが入りとてもビックリさせられました。今現在、薬物というものがさらに身近にあり、とてもおそろしく感じております。

そんな中、このように親子そろって薬物乱用についての話を聞くことができ、とても良かったと思います。

薬物はおそろしいということを忘れず、誘われてもきっぱりと断わるということをずっと忘れないでほしいと思いました。

今後も世の中のために活動、ご活躍をお願い致します。本当にありがとうございました。

「薬物乱用」まったく自分達には、関係のない事。まさかいや絶対…そんな事にはならないだろう。

これが話を聞く前の私でしたが、お話を聞くうちにお菓子の様な薬だったら騙されてしまうかもとか子供が先輩から強く誘われたら断れないのでは?とか不安になりました。

恐ろしさを知った上で家族の間で身近な問題だという事を認識し「断る」事のできる強さを持つべきだと思いました。

今日は、沢山のお話をいろいろな工夫をして、子供に分かりやすく話をしていただき本当にありがとうございました。

父母の声



今回、初めて薬物乱用のお話を聞かせて頂きました。子供にもわかりやすく、興味をひくように話して下さいだったので、子供達の心にも強く残ったのではないかと思います。

私が一番心に残った言葉は、「一度でも薬物乱用すると脳に傷がつく、そして一度ついてしまったその傷は、二度と消えることはなく、何年経っても、フラッシュバックでよみがえる」ということです。「飲んだらやせる」とか「みんなやっているから大丈夫」とか、軽い気持ちで乱用してしまうことの恐ろしさを改めて考えさせられた内容でした。今回6年生の親子学習会でしたが、小さい頃から、何度も何度も言い聞かせ薬物乱用はいけない事だということを、地域だけでなく国をあげて教えていかなければいけない事だと思いました。

最近ニュースで小学生が大麻を使用したとあり、とてもタイムリーな学習内容でした。

普段生活していると、薬物はＴＶの中の話の様ですが、子どもも手軽に携帯を持てる今、薬物は私達の近くにあります。

家でも、薬物や防犯について話し合う良い機会になりました。ありがとうございました。

薬物は、身近に迫っている社会問題であり、正しい知識を得ることが大切だと思いました。また、日々変化する世の中においては、発達段階に応じて、現状を伝えることも重要だと痛感しました。

たった一度の使用でも、強い依存性があり、心と体を蝕むことがわかりました。

薬物の誘いにＮＯと言える勇氣を持って、これからの長い人生を歩んで行って欲しいと、親として切に願うばかりです。

先日の親子学習会では、薬物・喫煙の危険性についてのお話をわかりやすく話していただき、ありがとうございました。

ちょうど、ニュースで小学6年生の子どもが大麻を吸引したことがとり上げられており、小学生に薬物の話をすることが決して早すぎることはないんだな、と実感しました。

また、ガマの油の売り口上も見ることができ、私にとっては初めての経験でしたが、楽しく、またその中で薬物には絶対に手を出してはいけないという話も絡めてあり、とても興味深く拝見致しました。ありがとうございました。



追悼 故阿部俊三氏を偲んで



(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター理事長 井村 伸正

平成27年10月21日朝、前日の約束通り車で迎えに行かれた御舎弟によって亡くなった阿部さんが発見された。

享年70歳、真に惜しまれる急逝であった。

昭和62年に設立された財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターの門出に際して、それまでの社会派映画監督としての感性と啓発活動に対する高いモチベーションを期待されて企画部長に就任した阿部さんは、財団の苦しい運営を維持するために、政治家、行政、企業等への働きかけに奔走するのみならず、具体的な乱用防止戦略の構築に力を尽くしたことは関係各位の良く知るところである。薬物乱用防止を目指したその基本的姿勢は、既に乱用を経験した者の再乱用防止や依存症に陥った患者の救済ではなく、乱用薬物に近づくことを厳しく阻むことが最も効果的な手段であるという信念に基づいており、阿部さんが作り上げたキャッチコピー、「ダメ。ゼッタイ!」を冠した運動は四半世紀にわたって財団の中心

的事業として継承されている。

新法人法の施行によって所管の行政省庁が変わり、行政からの支援が受けにくくなったこともあって、財団の運営が困難になった時期に、自ら望んで財団の業務執行の実質的責任者である専務理事を務めることになった阿部さんは長年の無理がたたってこのところ体調を崩し、病院通いが頻繁になった。おりしも、新しく公益法人の監督官庁となった内閣府から本財団への初めての立ち入り調査を行うとの通達があり、その日が平成27年10月21日であった。自身にとっても初めての経験となる監督官庁の立ち入り調査への準備はかなりの負担であったに違いない。調査当日の早朝、残念ながら誰も看取る者のいない中で旅立たれた阿部俊三氏は信念を貫き通した「侍」であった。「薬物乱用防止」に後半生を捧げ、本財団を四半世紀にわたって支えてきた阿部さんの功績を称え、静かにご冥福を祈りたい。

(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター理事 鈴木 正二

昨年(2015年)10月21日に阿部氏が急逝されましたこと、まことに残念でなりません。以前より糖尿病を患ってい

たことは心配しておりましたが、ご自身は一病息災仲良く付き合っていると常々話しておられたので、まさかの思いでいっ

ばい。しかも亡くなられる数日前に茨城県日立市に於いてライオンズクラブ茨城地区主催の薬物乱用防止教育指導者養成講座を開催の折、講師としての元氣なお姿からは考えられない、あまりにも突然で誰もが信じがたいことでした。

阿部氏とは30年来、友人としてまた薬物乱用防止活動に共に歩んできた仲間でした。今、数々の思いが脳裏をよぎります。

阿部氏は、(財)麻薬覚せい剤乱用防止センター設立に尽力、民間への啓発活動の中心的機関として、『ダメ。ゼッタイ。』普及運動、『ダメ。ゼッタイ。』国連支援募金運動、薬物乱用防止キャラバンカーの巡回活動、薬物乱用防止教育指導者養成講座等、防止センターの大きな事業としての礎を築かれたその功績は正に大であります。

そうした阿部氏の薬物乱用防止活動に対する情熱と、私の青少年健全育成への思いで意気投合しました。特に、私がライオンズクラブ国際協力333-B(茨城県・栃木県)地区の地区ガバナー、複合(茨城県・栃木県・千葉県・群馬県・新潟県)地区議長時代、日本ライオンズに協力を要請、薬物乱用防止教室を開催するための講師養成講座を実現、更には、その向上を図るため、薬物乱用対策推進本部を構成する内閣府、厚生労働省、警察庁、文部科学省の後援承認に奔走し許可を得るに至りましたことも阿部氏の努

力があつたからこそ思っております。

『ダメ。ゼッタイ。』国連支援募金運動についても、街頭キャンペーンに参加した全国のヤングボランティアの中から代表者を「民間国連ヤング大使」として、寄付金を贈呈するためUNODC本部(オーストリア)へ派遣、派遣されたヤング大使は現在各地域で薬物乱用防止活動のリーダーとして活動しており、青少年の薬物乱用防止に対する意識の向上に大いに寄与しております。そうした発想が彼の持ち味でもありました。

また彼は持病も顧みず、全国で開催された全ての養成講座に足を運び講演、薬物乱用防止を啓発推進するためには、まず、薬物に手を染めていない人々(特に青少年)を対象に、啓発活動しましょう」と熱弁して回りました。

阿部氏への思いは尽きません。が、「薬物乱用問題の解決のために、私たち一人一人に出来る事とは?」、彼のこの思いを私たちが実践し解決することを誓いながら、今は亡き阿部専務理事を偲ぶことばとさせていただきます。

ライオンズクラブ国際協会330複合地区 薬物乱用防止委員会委員長 寺田 義和

初めて阿部さんとお会いしたのは、平成5年でした。上野駅でライオンズクラブ「薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」キャンペーンに参加して、パンフレットを配布したが、若人が無視して受け取ってくれない状態に、これからの日本を背負う青少年に薬物乱用防止を訴える方法を模索した結果、「中学校に行き薬物乱用防止教室を行えば良い」との結論に達し、その方法をセンターの阿部俊三企画部長に相談したのが、22年にわたる交友の初めでした。講師として下谷保健所衛生課長佐野ウララさんを紹介されて、平成6

年3月3日下谷中学校3年生対象の薬物乱用防止教室を開催し、16mmフィルムの上映を含めて、阿部さんのアドバイスに

より素晴らしい授業に成りました。翌年から台東区、中野区の中学校に拡大し、講師が不足する事に成り、佐野さんの「ライオンズの皆さんは立派な社会人、薬物の勉強を少しすれば、中学生に薬物乱用防止を教えることはできます」との言葉に押されて、平成9年阿部さんと共にライオンズクラブとセンターの共同認定による「薬物乱用防止教育認定講師」制度を立ち上げる事が出来ました。阿部

さんのお力で、厚生労働省・警察庁・文部科学省・東京都から講師を派遣して戴き、医学的知識・刑法上の知識・生徒に教える方法・違法薬物撲滅運動の知識等を受講生に学んで頂く事が出来ました。初年度97名の認定講師を養成できました。

阿部さんが良く言われた「馬鹿が3人集まれば何事もできる」との言葉通り今日の認定講師制度の基盤が出来ました。その後日本各地のライオンズクラブ準地区(35か所)に阿部さん、万本盛三医学博士、小生の3人が地方巡業を行い、北海道から沖縄まで、弥次喜多道中さながらの楽しくも苦しい遠征が続きました。(近年は、小生に代わって館親光氏が全国行脚に参加されました。)阿部さんが終生一貫して貫いた「未然予防に徹する」考えは、広く、深くライオンズクラブの認定講師に受け継がれております。現在日本全国で1万5千人余りの有資格認定講師が、年間約40万人の中小高校の生徒に「薬物乱用防止」を訴えております。

さらに、(地域のおじさんおばさんが、認定講師の資格を取り、地域の学校に出向き直接生徒に薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」を教える制度)が、ライオンズクラブ国際協会を動かし、UNODCとの協力の下、世界各国のライオンズクラブが日本で生まれた認定講師制度を取り上げ活動する日も遠くない事と確信します。阿部さんにはその姿を見届けて頂きたかった。阿部さんの一生は、我が国始め世界の青少年の健全育成に燦然たる功績を築かれた事と賞嘆し全国のライオンズメンバーと共にご冥福をお祈りします。

国際薬物規制100年 「過去からの物語」

シリーズⅢ

「過去に埋もれて：1900年代初頭～国際連盟にて」

シリーズⅣ

「過去に埋もれて：1900年代初頭 ～国際麻薬規制条約体制への道」

麻薬・覚せい剤乱用防止センター理事 前国連薬物・犯罪事務所(UNODC)事務局長特別顧問
元UNODC東アジア太平洋地域センター代表 元国際麻薬統制委員会(INCB)事務局次長

藤 野 彰

〈過去からの物語〉シリーズⅢ

過去に埋もれて 1900年代初頭

〈国際連盟にて

国際連盟、ジュネーブ、1925年6月27日、事務総長¹による覚書
Ref. C.381.M.125.1925「上海広東通り51で1925年1月に押収され
た文書により暴露されたアヘン及び麻薬密輸シンジケートのオペレーショ
ンに関する覚書」

「この事例は上海租界合同法廷²への告訴から浮かび上がった。告訴状
によると『ふたりの人物』（筆者注：原文には個人名が記載されている）
が、盗難アヘンの授受及び処分に関する中国刑法規定に違反して盗品の
アヘンを処分したとされる。この刑事告訴と同時に、この同じ人物らと
『ふたつの会社』（原文には会社名記載）に対し、担保として100万ド
ル³を直ちに供託すべきとの召喚状を発するよう、民事上の請願も当該
法廷に宛てて提出されている。原告らは共同所有する船荷証券に基づき、
コンスタンチノープルからウラジオストクへ向けて船で送られた18
0箱のアヘンが、被告達によって違法に船から運び出され、上海で売り
払われたと主張する。」⁴

1 この時点では、国際連盟事務総長は初代のサー・ジェイムズ・エリッ
ク・ドラモンド (Sir James Eric Drummond、イギリス出身、在職19
20～1933) であった。

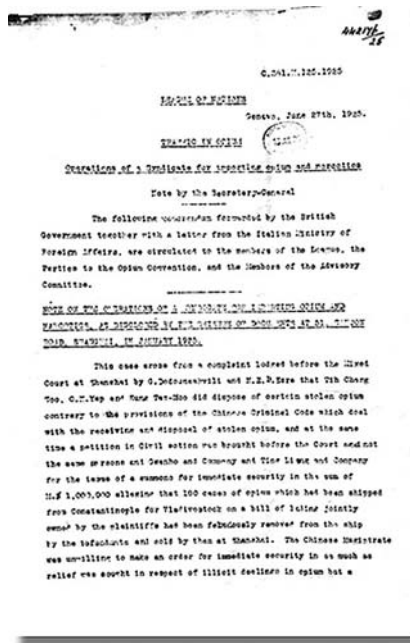
2 Mixed Court「租界会審公廟」…上海第二特区地方法院。中国側と英
国租界当局の合同法廷と思われる。

3 原文には“M\$”とあるので、マレーシアドルかと思える。しかしそう
だとすると、何故この通貨が選ばれたかについては、当該文書からは判
別し難い。

4 この段落は、原文ではただひとつのひどく長い文章になっている。現
在、国際連合においても、きわめて官僚的で解りづらく、受動態を多用
しすぎるなど、良い英語とは言いがたい文章が多々見られるが、国際連盟
時代の初期すでにそうであったらしい。訳出するにあたっては、文を分
かち、意訳した。

この国際連盟事務総長による覚書は当該諸国から提出された情報に基づいており、連盟加盟国、万国阿片条約の当事国、及び連盟によって設置されたアヘン等危険薬物の取引に関する諮問委員会のメンバー国に宛てて配布された。次に述べるように、この覚書には今日の国際薬物規制において不可欠な、国際的な情報提供の際に伝えられるべき主要素が、すでに含まれていた。

わけでも、この覚書は当時存在していた密輸シンジケートの成り立ちと関与、麻薬密輸の手段や方法についての情報を提供している。例えば、密輸あるいは「横流し」のためには、自由港や郵便を使い、またわざわざ世界各地の都市を経由して輸送し、様々な国籍の人間が関与し、さらには国内法や国際条約の抜け道を巧みに利用していたこと、等々である。



国際連盟事務総長による覚書

またこの覚書は合法的な流通経路から非合法ルートへの「横流し」が如何に行われたかについて詳細を具体的に記述する。そこからは、明らかに賄賂を使って入手したと思われる輸入許可証が使われたり、製薬会社が非合法なルートへ横流しされることを知りつつも販売した事例（この覚書は、現在も存在するよく知られた製薬会社の関与を、名指しで指摘する）などが明らかにされる。さらには、麻薬の密輸に関与した組織の間で取り交わされた電報やその他の通信の精査から判明し、国際連盟を

通して加盟国と共有された、各事件の詳細について述べている。

この国際連盟事務総長の覚書は、当該シンジケートがどのようにして構成されたかについても言及する。

「上海で押収されたこれらの書類は、シンジケートがどのように形成されたかについては触れていない。しかし、実際の組織化にあたっては、上海のG社（筆者注：原文では社名記載）の人間の手で処理されたことは明らかであり、おそらくは最終的に訴追され有罪判決を受けた『人物』（筆者注：原文では中国人の実名記載）によるものだと思う。このシンジケートは神戸在住の日本人M.K.（筆者注：原文には実名記載）によって資金提供されており、1924年10月20日に事業関連の全口座が彼に手渡された。M.K.なる人物についてはこれ以上のことは分からないものの、彼が当該事業に関してただの名前だけのパートナーではないことは明らかである。シンジケートのメンバー達は頻繁に神戸を訪問している。」

覚書は、関係者の動きを続けて記載し、さらには金銭上の動きも追跡する。例えばその過程で、ある会社が実際にはひとつの会社であるにも拘わらず、ふたつの会社名を用いて事業を行っていることまでも指摘する。また、密輸された麻薬を運んだ船舶の航程も辿る。

「K丸」（筆者注：日本名記載）は神戸にあるY.S.社（筆者注：固有名詞は差し控え、イニシャルのみ記す。以下同じ。）によって1923年10月にチャーターされ、この船が日本を出発するまでには多額の費用が

5 1912年1月23日にハーグにおいて採択され、1915年2月11日に発効した。本稿の舞台である1925年2月19日には、すでにジュネーヴにおいて新たな国際阿片条約が締結されていた。それが発効したのは1928年9月25日であったから、ここで言及されているのは、1912年条約である。

かかったとされる。シンジケート関係者が、神戸から大阪、門司、若松などを訪れている。」

「12月16日、この船はシンガポールにあり、1日半滞在した。11月23日にはL.K.に対してG会社より530円の電報為替による支払いがなされていた。1924年1月11日には船はサイド港（エジプト）に着き、10ポンドが『中国籍の人物』（筆者注・原文では実名記載）に支払われている。」1月24日にはこの船はジェノヴァ港（イタリア）に到着、ウラジオストックから積み出された、26ケースの麻薬を積み込んだ。」

イタリア当局による照会・審理から、この麻薬はしかるべき税関許可証のもとにスイスから輸入されており、船はコンスタンチノーブル（現在のイスタンブール）へ向かったことが明らかになっている。当時のコンスタンチノーブルでは、様々な国の人間が関与していたことがさらに明白になった…

「コンスタンチノーブルでトルコにおける中国籍の人間を保護する責を負っていたデンマーク副領事によれば、明らかに船荷監督人としての役割を果たしていると思われるC.K.Y.（筆者注・中国名）は、C.H.という人物、その秘書兼通訳者、及びロシア人に付き添われており、…不正に手に入れた中国のパスポートを所持していた。」

このケースについては徹底的な捜査が行われたようである。例えばこの中国籍の人物が、前記の上海における捜査で押収された書類の中から発見された、国際連盟事務総長覚書によると「トルコにおけるアヘン削減に関する、非常に良く書かれ、ごく記述的かつ統計的な論考」の著者であることを突き止めていることから、そう判断できる。

当初の目的地となっていたウラジオストックでは、「スイス生まれで帰化した英国籍の人物」が、「ウラジオストック在住のヨーロッパ人ら

しき」人物と合資会社を持っていたとされる。この合資会社をつくる商習慣は、アヘン輸入免許を取得する目的を持っており、海外でのアヘン入手の隠れみのであった。事務総長覚書によると、「アヘンはウラジオストックへ実際に輸入されることなく、ジャンク船に積み替えられて中国へ密輸された。」

事務総長覚書はさらに密輸方法についても言及する。

この船はスミルナ（現在のイズミール、トルコ）において塩を2,200トン、コンスタンチノーブルでアヘン180箱積み込んだ。前記の上海での捜査で押収された書類は、帰路の航海に関してはほとんど何も触れていなかったが、船がサバン（インドネシア、アチエ州）到着後の搜索で、「180箱の生アヘンが船倉の一室の中、木製のついたての後ろに26箱の他の麻薬とともに隠されていた」のが発見されている。アヘンの船荷に関する報告を怠っていたことで罰金が課されたものの、そのアヘンを当時のオランダ領へ密輸する意図があったという証拠はなかったため、船はアヘンその他の麻薬を搭載したままサバン出港を許された。



切開された「ケシ坊主」から
染み出すアヘン

覚書は、この船がアヘンを何処で荷揚げしたかはわからないとするが、どのようにしてこのアヘンが上海へ運ばれたかについて伝えている。商業契約に基づきアヘンは「高尚廟」という名の造兵廠⁶へ運び込まれたが、「この造兵廠は上海における最高位の軍人である防衛長官の直接監督下にあった。」

6 この造兵廠の名前は「Kautshaungmiao」と記されており、「高尚廟」であるようだが、約1世紀前の上海語の音訳と思われる。

この事実は、密輸に対しての軍の関与を示唆するようである。少なくとも黙認していたと思われる。

国際連盟から出された別の覚書⁷は、積み込まれていた他の麻薬が何であったか、そして積荷の麻薬がどのように処理されたかについても言及する…

「K丸」（筆者注…原文は日本船の実名記載）乗組員の証言によれば、船は4月27日に上海沖のノース・サドル（North Saddle）島⁸近辺に到着し、アヘンはそこで待機していた中国のジャンク船に移された。これをやり遂げる前、まず船は揚子江に進入しようとしたが果たせず、釜山港に赴いた後、27日にノース・サドル島近くに戻っている。ここでアヘン180箱とモルヒネ13箱が積み替えられた。また、別のモルヒネ13箱が済州島付近で海中投棄された後、船は神戸へ向けて出航した。」この船には中国人の船員5名が乗っており、アヘンその他の麻薬を見張っていたが、積み替えが終了すると姿を消したと報告されている。

さらに別の覚書⁹は、ある密輸の事例について語る。

「詳細は未だ入手できていないものの、新聞報道によれば過去数日の間にドイツ仕出しのモルヒネが大量に押収された。押収は上海においてなされ、ドイツから大量に輸入された鉄製ベッドに隠されているのが発見された。中空になっているベッドの支柱部分にはすべてモルヒネが詰められていた。…国家動乱の際にはごく通常のことであるが、時たまある押収をのぞけば、アヘンやその他の麻薬は自由に取引されている。」

最終的にはいずれかの目的地に向け、何かに隠され「密輸」して運び込まれることになるこういった麻薬は、当初は医療品としての合法的な国際流通ルートから「横流し」されていた。例えば前述の覚書¹⁰は、現在も存在する良く知られた製薬会社のいくつかに関して、ある書簡に言

及している。

「この書簡から明らかになるのは、『当該製薬会社が』（筆者注…原文ではその製薬会社を名指しする）…常習的に多量の麻薬を…『別会社』（原文ではこれも名指しされる）に提供しており、かつ彼らはこれらの取引の性格（いずれは非合法的なルートに「横流し」されて密輸の対象になること）を十分に承知していたにちがいないという事実である。」

覚書は、さらに別の会社についてこう述べる。「この会社は（麻薬の）密輸に関与していることで悪名高い。1919年に、その頃はハーグに拠点をおいていたが、コペンハーゲンの「自由港」¹¹を経由して、極東へ麻薬を送り出していたことが判明している。会社は後にドイツ、バーデンのフライブルグ¹²という街に移動しており、そこからかなりの量の麻薬と武器を極東に向けて密輸している。ドイツ政府によるこういった取引への徹底的な調査が行われた結果、この会社はより都合の良い場所に移ることにし、1924年にはバーゼル（Basle/Basel）のリヘン（Riehen）¹³に社を構えている。」

こういった会社は明らかに国際連盟の活動についても良く知っていた。

7 国際連盟アヘン諮問委員会（Advisory Committee on Traffic in Opium）事務総長による覚書 Ref. C.463.M.173.1925.XI., O.C.276 (a) 1925年8月26日付。

8 「北安島」。

9 Ibid. Ref. C.421.M.153.1925.XI., O.C.301 1925年8月8日付。

10 Ibid. Ref. C.381.M.125.1925 1925年7月27日付。

11 Free Port: その国への輸入以外は無関税の港。本来は関税がかからないのみのはずが、往々にして規制そのものも緩やかで、全く適用されないことがあった。現在でも世界各地で同様の問題がある。

12 Freiburg.

1312 バーゼルはドイツ、フランス、スイスの3国の国境が接する地点に位置するが、スイスに入る。しかしリヘンはドイツにあって、その近くにバーゼルという地名もみられるから、実際に当該会社に移ったのはどちらであるのか、この文書からは判別し難い。

14 Ibid. Ref. C.381.M.125.1925 1925年7月27日付。

例えば前述の覚書¹⁴は幾つかの会社間でやり取りされた通信に触れてこう述べる。「これらの会社が国際連盟の活動とアヘン会議の結果について強い関心を示していることは興味深い。…『前記の最初の事例で名指しされた会社』はスエズ運河を通過するのに厄介なことがあるかどうか執拗に問い合わせていた。」

これらの事実から、当事国に対して拘束力を持つ規制手段を備えたものとしては世界最初の国際麻薬規制条約、1925年の「万国阿片条約」が採択される以前、すでに国際連盟事務局は麻薬事犯の捜査結果を国際的に情報伝達するための重要な役割を担っていたことがわかる。このような情報・インテリジェンスを共有することは、密輸業者らが当時の麻薬規制の弱点を悪用するのを防ぐためには必要不可欠であった。今日でも同様である。

すでに述べたように、この時代、密輸業者は現在のように自分たちで麻薬を密造する必要はなく、製薬会社が合法的に製造した麻薬を、正規の国際的流通ルートから横流しすれば事が足りた。そこには、賄賂その他の汚職が横行し、輸入許可証等の文書偽造があり、儲けのみを念頭に知らぬふりを決め込んでいた製薬会社その他があった。このような状況において、国際連盟事務局がすでに国際的な情報共有のために懸命な努力を続けていたことが、非合法な活動に鋭く楔を打ち込んだのであり、その後の国際条約体制を築く礎となった。

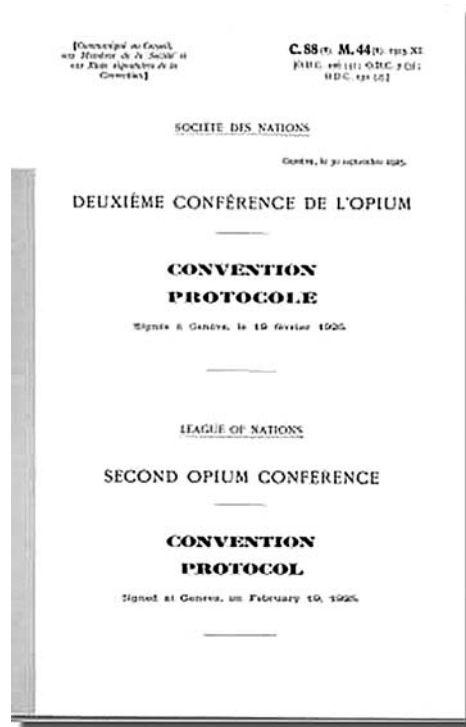
1900年代初頭、国際麻薬規制が未だその揺籃期にあったとき、これが国際連盟の果たした役割であった。

* * *

△過去からの物語▽シリーズⅣ

過去に埋もれて 1900年代初頭

国際麻薬規制条約体制への道



第2万国阿片会議 条約議定書

「本総会は、未だ条約を批准して効力を与えておらず、国際連盟理事会が1921年6月28日に事前に承認し、1921年9月30日採択の決議をもって第二次総会により承認された輸出入規制のシステムを導入していない国々からの、当条約の適用対象である阿片又は他の麻薬の輸入に対しては、許認可を与えないことを万国阿片条約の当事国に要請すべきであるとの見解に傾いている。」— 国際連盟総会決議、1922年9月採択¹⁵。

15 “Report to the Council on the Work of the Advisory Committee on the Traffic in Opium and Other Dangerous Drugs 1923” (「阿片及びその他の危険薬物不法取引に関する諮問委員会の業務についての連盟理事会への報告」)、ジュネーヴ、1923年1月8〜14日、英国公文書館ファイル C.117 (I) M.65, 1923, XI。

当時、国際連盟において麻薬規制に関する議論は、主として世界初の国際麻薬規制条約「万国阿片条約」への当事国を確保すること、規制された麻薬が合法的な流通過程から非合法的なルートへ“横流し”されるのを防ぐ手立てを講じることに焦点が当てられていた。しかしながら、1912年に採択されたこの条約からはそのような“横流し”を防ぐための拘束力を持つ手段が欠けていた。密輸され乱用されていた、アヘン、モルヒネ、ヘロイン、コカインといった麻薬は、そもそもは製薬会社によって合法的に製造されていたのであった。「阿片及びその他の危険薬物不法取引に関する諮問委員会」（「阿片諮問委員会」と通称されていた）は「万国阿片条約の全面的な施行を妨げる障害が容易ならざるものである」ことを認識しており、それは「ある国々が当該条約を遵守しようとして、国際連盟の勧告する、特に麻薬の輸出入規制を施行するための手段をとろうとしないことに現れている」¹⁶とする。従って、国際連盟によるごく具体的な手段についての勧告が必要であった。阿片諮問委員会は次のように述べる¹⁷…

「特に、輸入許可証制度がこれまで提案されたなかでは、間違いなく最も効果的な方法であり、これによってこの条約の当事国が輸出入規制に関する条約上の国際的な義務を果たすことができるようになる。」

そして諮問委員会は続けてこう断言する。

「この（輸入許可証）制度の外側にいようとする国、いわんや全く当条約の外にいようとする国などは、万国阿片条約の目的実現を妨げるか、さもなければ全てを損なわせることになる。」

1920年代、国際連盟はすでに、世界的に条約が批准され、かつ具体的な規制措置が全世界で普遍的に適用されて初めて、麻薬の不正取引に有効な対処ができるのだと認識していた。麻薬の国際貿易に対する効果的な規制を推し進めるため、輸出入許可制度を検討するのに加え、国

際連盟は、合法的な貿易過程から非合法的なルートへの“横流し”を摘発するには、合法的な麻薬の輸出入統計を集めることが不可欠だと考えていた。英国内務省から外務省に宛てたある書簡¹⁸は、そうして集められた統計に不一致が見られる場合に、国際連盟がすでに調査を開始していたことを示している…

「…英国と日本の統計データの不一致に関して説明を求めた昨年の国際連盟からの要請に基づき、この情報は国際連盟事務総長へ提出して差し支えない。」

1920年代当時、この2国間の統計データに多くの不一致が見られた。多くは、例えば英国からの麻薬輸出货量が、日本から提出された統計に示される輸入量よりもはるかに多かったことなどである。これは、国際貿易の過程で、極東の非合法取引ルートへ向けて多量の麻薬“横流し”が起っていたことを疑わせる。

前記の英国内務省から外務省あての書簡は、2国間の統計データの不一致を説明する難しさを特記する。

「…膨大な仕事量が必要になることを考慮すれば、英国政府自身が同様の情報、例えば発行された（輸出）許可証、個々の船荷、郵便による申告等の詳細を提供する用意がなければ、（駐日英国大使としては）より詳しい情報を求めて日本政府にこれ以上働きかけることを躊躇せざるを得ない。…」

そしてこの書簡は、次のように締めくくっている。

¹⁸ *Ibid.*

¹⁷ *Ibid.*

¹⁶ 内務省次官より外務省次官宛て1923年5月4日付書簡 Ref. 440,715/17° 英国公文書館ファイル Ref. FO 371/9247 63344°



1920年代のアジア (Harmsworth Atlas of the Worldより)

「(統計上の) 不一致が生じた原因を明らかにすることは非常に重要である。従って税関当局の監視結果を国際連盟に伝達するにあたり、(統計) 報告を精査し国際貿易の推移を詳細に知る手がかりを与えるため：彼(駐日英国大使) は、すべての国が輸出入統計を同一のやり方でまとめ、それをさほど間隔をあげずに頻繁に公刊するのが望ましいことに、注意を喚起すべきだと提案する。」

当時、国際連盟は、同一のやり方で集計された、輸出入に関する統計データを獲得するのに困難を覚えていた。1912年採択の「万国阿片条約」のもとでは、国際連盟へのそのような詳細な情報の報告は未だ義務ではなく、加えて主要な国の多くが条約に加盟してさえいなかったからである。従って、阿片諮問委員会は統計報告の任意提出を含む、具体

的な手段に関する勧告を行っていた。

1923年に出された前記の国際連盟文書¹⁹のなかで、阿片諮問委員会は「できるだけ早い時点で報告と統計の提出をこういった国々の政府へ強く要求し、さらに当該政府は阿片条約第21条に基づく義務を負っていること、またこの諸点に関する当委員会の勧告は国際連盟総会によって全会一致で了承されたという事実」に注意を喚起することを、連盟理事会へ要請する。」

この阿片条約第21条は各国の報告義務は規定していたものの、必須であるべき詳細については明示していなかった。「…これらの統計は、可能と考えられる限り、できるだけ多くの詳細を短期間に、提出されるものとする²⁰」と規定するのみであった。従って、国際連盟は任意の規制手段や、連盟の出す勧告に頼らざるを得なかった。

このような努力の結果、その後1925年に採択された次の万国阿片条約には、麻薬の輸出入規制のための、輸出入許可制度や統一された形式での統計報告の提出義務などを含む、条約当事国に対して拘束力を持つ様々な規制手段の条項が含まれることとなった。これらの規制手段は、今日においても引き継がれ、1961年の「麻薬に関する単一条約」と1971年の「向精神薬条約」の主要な条項である。現在では、こうしたデータは国際麻薬統制委員会(INCB)²¹によって処理され発行されている。前記1923年の書簡が提案したのとはほぼ同様である。詳細は後のシリーズで語るはずである。

19 「阿片及びその他の危険薬物不法取引に関する諮問委員会の業務についての連盟理事会への報告」, *op.cit.*

20 "[t]hese statistics shall be furnished with as many details and within a period as short as may be considered possible."

21 International Narcotics Control Board. 1961年の「麻薬に関する単一条約」によって設立された、準司法的な権限を持つ独立した委員会である。筆者はその事務局に最も長く勤務した。

ここで、当時1920年代初めにおける法執行機関の間に見られたある種共通の姿勢について、手短に触れておくのは意味があると思われる。さる税関当局の覚書に記されていることが、あるいはこの共通の姿勢に関して典型的なものであろうか。

「前記の期間内ではモルヒネ、ヘロイン、コカインのいずれも押収されてはいないが、これらの麻薬はごくたやすく密輸されるので、探知するのは最も困難なことである。」「税関の観点からすると、阿片の捜索には問題がある。税関職員がそれにかかっている間は、歳入のためには真の価値がある関税が入ってはこないからである。」²²

さらに、当時、麻薬の密輸とそれに対する対応策が取られていた環境を眺めてみると、興味深い事実がわかる。左記はその一端をうかがわせる。

「シャム王国（当時…現タイ王国）外務大臣は、阿片の非合法な使用または不法取引が関与する場合には、治外法権は全て撤回されるべきであると提案する。英国王陛下の政府は大体においてこのような場合、シャムにおけるそういった権利を放棄してはきたが、（英国）外務大臣としてはこの提案は受け入れがたい。もしそうした場合には、特に中国側がシャム王国に追隨して、このような場合に完全な裁判管轄を主張しかなないからである。他方で、より一層効果的な法律が存在しないからには、シャム王国の法が適用されるべきだという提案は、治外法権の特権を享受する全ての国々による領事裁判の替わりになるものとしては、現在日本においてそうなされているように（筆者注…裁判管轄権を日本が持ち、その法律が適用されていることを指す）、不合理とは言えないかもしれない。」²³

これらの見解は、裁判の舞台裏における汚職を示唆する。従って、拘束力を持つ具体的な麻薬規制手段を有する国際麻薬条約が制定され、全

世界に適用される必要があったことを、明確に示していた。

1900年代初頭のこういった状況のもと、国際規制の対象となった麻薬が非合法なルートへ「横流し」されることを防ぎ、それと同時に医療に必要な麻薬を確保するため、有効かつ実地的な手段をとることに、各国政府は次第に合意を形成していった。この努力がその後、20世紀を通じて一連の国際麻薬規制条約の締結へと進化・発展していくことになる。

²² 福州税関長より英国領事館宛て1922年2月4日付け書簡、英国公文書館ファイル“Peking General”（「北京一般」）No.5.: Confidential (機密) No.98 in file F.O.371 8025。

²³ 英国外務省より内務省宛て書簡、英国公文書館ファイル“Opium”（「アヘン」）Confidential (機密) Ref. F1504/421/87 in FO 371/9247 6334。



平成27年度 麻薬・覚醒剤乱用防止運動地区大会

本年も10月、11月の2か月間にわたり「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」が全国的に展開されました。

この運動は、薬物乱用対策推進会議において策定した「第四次薬物乱用防止五か年戦略」及び「危険ドラッグの乱用の根絶のための緊急対策」も踏まえ乱用防止に関する啓発活動を強力に推進するため、国民一人一人に麻薬・覚醒剤等の乱用による被害を認識させ、薬物乱用撲滅に対する積極的な取り組み及び本運動の飛躍的な盛会を期することを目的として実施されたものです。

関東信越地区（神奈川県）大会及びその他の地区大会の開催状況は次のとおりです。



1. 関東信越地区（神奈川県）大会開催状況

月 日 場 所 参 加 人 数	平成27年11月20日（金） 神奈川県民ホール 小ホール 約220名
主 催	厚生労働省、神奈川県
後 援	薬物クリーンかながわ推進会議 （公財）麻薬・覚せい剤乱用防止センター 横浜市
第 1 部 （ 式 典 ）	・主催者挨拶 ・来賓挨拶 ・内閣府特命担当大臣メッセージ紹介 ・薬物乱用防止功労者表彰式 ・厚生労働省の薬物乱用防止に関する取組紹介
第 2 部 （アトラクション）	・小池美由さん ミニライブ ・渡部陽一さんと小池美由さんとみなさんと一緒に考えるトークセッション ・大会宣言
大会の概要	特に青少年層を対象に、2部構成で薬物乱用防止啓発イベントを開催した。 第1部は式典及び厚生労働省の薬物乱用防止に関する取組の紹介がなされた。 第2部は小池美由さんの元気な歌のミニライブが会場を沸かせた後、戦場カメラマン・ジャーナリストである渡部陽一さん、横浜薬科大学の篠塚教授と4名の同大学生を迎え、トークセッションを行った。 まず始めに、渡部陽一さんが世界中で撮影した写真映像を用いて、戦場の薬物乱用の状況や子どもが犠牲になっている状況、薬物更正施設の紹介を行った。 その後、神奈川県が作成した危険ドラッグ乱用防止啓発映像「危険ドラッグの恐怖」を上映し、篠塚教授による世界の薬物乱用の傾向や危険ドラッグの危険性等に関する解説を挟みながら、出演者が感想や意見を話し合った。

2. 地区大会開催状況

地 区 名	開 催 日	開 催 地
北海道・東北	平成27年10月7日（水）	千 歳 市
東 海・北 陸	平成27年11月1日（日）	岐 阜 市
近 畿	平成27年11月23日（月）	京 都 市
中 国・四 国	平成27年11月25日（水）	徳 島 市
九 州	平成27年11月7日（土）	宮 崎 市

平成27年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金状況

(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター

都道府県		実行委員会		ライオンズクラブ		ロータリークラブ		募金額合計	
		件数	募金額	件数	募金額	件数	募金額	件数	募金額
1	北海道	57	409,063	3	26,420	0	0	60	435,483
2	青 森	43	265,428	1	20,000	0	0	44	285,428
3	岩 手	60	146,664	1	3,000	0	0	61	149,664
4	宮 城	52	375,226	4	47,656	3	40,206	59	463,088
5	秋 田	130	430,352	4	67,423	0	0	134	497,775
6	山 形	50	399,077	4	23,158	0	0	54	422,235
7	福 島	116	2,298,230	1	10,000	0	0	117	2,308,230
8	茨 城	287	1,152,250	3	64,834	1	47,330	291	1,264,414
9	栃 木	10	149,634	0	0	0	0	10	149,634
10	群 馬	18	167,052	0	0	0	0	18	167,052
11	埼 玉	277	2,119,860	0	0	0	0	277	2,119,860
12	千 葉	54	321,251	2	17,000	6	71,024	62	409,275
13	東 京	222	1,672,056	1	24,145	0	0	223	1,696,201
14	神奈川	70	1,003,122	0	0	10	246,093	80	1,249,215
15	新 潟	124	355,207	3	100,217	0	0	127	455,424
16	富 山	2	393,554	0	0	0	0	2	393,554
17	石 川	18	292,751	15	185,513	2	32,932	35	511,196
18	福 井	4	346,052	3	26,309	0	0	7	372,361
19	山 梨	7	292,678	0	0	0	0	7	292,678
20	長 野	279	861,417	0	0	50	838,541	329	1,699,958
21	岐 阜	151	478,095	1	15,148	0	0	152	493,243
22	静 岡	56	497,071	21	265,348	0	0	77	762,419
23	愛 知	61	222,279	0	0	0	0	61	222,279
24	三 重	69	205,622	6	119,965	10	125,847	85	451,434
25	滋 賀	16	87,006	6	85,301	2	14,477	24	186,784
26	京 都	77	317,921	3	10,147	0	0	80	328,068
27	大 阪	59	1,103,951	54	857,855	15	220,610	128	2,182,416
28	兵 庫	20	337,331	0	0	0	0	20	337,331
29	奈 良	12	127,106	4	252,500	0	0	16	379,606
30	和歌山	25	148,832	17	228,503	9	93,138	51	470,473
31	鳥 取	38	175,070	0	0	0	0	38	175,070
32	島 根	55	189,035	3	9,203	0	0	58	198,238
33	岡 山	83	356,842	18	125,617	1	10,149	102	492,608
34	広 島	68	443,066	1	841,814	1	59,382	70	1,344,262
35	山 口	49	1,525,512	4	48,255	3	102,500	56	1,676,267
36	徳 島	8	629,106	0	0	0	0	8	629,106
37	香 川	11	74,164	4	45,545	0	0	15	119,709
38	愛 媛	9	2,104,116	0	0	0	0	9	2,104,116
39	高 知	41	257,423	0	0	0	0	41	257,423
40	福 岡	43	305,599	20	174,560	0	0	63	480,159
41	佐 賀	56	396,256	1	4,959	1	5,730	58	406,945
42	長 崎	37	321,004	0	0	0	0	37	321,004
43	熊 本	47	424,461	0	0	0	0	47	424,461
44	大 分	104	1,125,021	7	40,388	1	10,653	112	1,176,062
45	宮 崎	19	115,373	1	7,079	2	113,118	22	235,570
46	鹿児島	76	594,945	1	2,925	0	0	77	597,870
47	沖 縄	200	946,742	3	18,082	0	0	203	964,824
	合 計	3,370	26,959,873	220	3,768,869	117	2,031,730	3,707	32,760,472

	振込件数	募 金 額
実行委員会	3,370	26,959,873
官公庁／団体	75	940,894
ライオンズ	220	3,768,869
ロータリー	117	2,031,730
企 業	293	1,871,632
総 計	4,075	35,572,998

平成27年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金は12月15日で締め切りました。

12月16日からの分は、平成28年度の募金に計上されます。

尚、ライオンズクラブ、ロータリークラブの募金が行委員会に含まれている場合もあります。

1 「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金適正化委員会

平成27年度国連支援募金適正化委員会は、平成28年1月26日（火）午後2時から、東京都千代田区の霞山会館・青花の間で開催し、募金運動結果報告及び国連寄付実行計画等の審議事項について了承されました。

2 「がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会」の開催状況

この講習会は、医療関係者の方々にWHO方式がん疼痛治療法を周知し、医療用麻薬の適正な使用を推進することを目的として平成7年度から開催していますが、平成27年度も、厚生労働省などとの共催の下に、平成27年9月から同28年3月まで全国12か所で開催されています。

【平成27年度の開催場所】

	開催地	期 日	会 場		開催地	期 日	会 場
1	東京都	9/27(日)	よみうりホール	7	岐阜県	12/26(土)	岐阜県医師会館
2	北海道	10/10(土)	T K P 札幌駅カンファレンスセンター	8	香川県	平28 1/16(土)	サンポートホール高松
3	富山県	10/31(土)	ボルファートとやま	9	京都府	1/30(土)	京都商工会議所
4	沖縄県	11/14(土)	浦添市社会福祉センター	10	秋田県	2/27(土)	秋田県総合保健センター
5	群馬県	12/5(土)	群馬県民会館ベシア	11	和歌山県	3/12(土)	和歌山勤労福祉会館プラザホープ
6	熊本県	12/19(土)	くまもと県民交流会館パレアホール	12	岡山県	3/19(土)	岡山大学Jホール

※岐阜県は医師のみを対象として開催。

3 薬物乱用防止教育認定講師養成講座の開催状況

この講座は、薬物乱用から青少年を守り健全育成を図るとともに地域での薬物乱用防止の環境づくりを推進するリーダーの養成を目的として、平成9年からライオンズクラブ国際協会と協同して実施していますが、平成18年度からは薬物乱用対策推進本部、厚生労働省、警察庁及び文部科学省の後援を得て強力に推進しているものです。平成27年度は全国45か所で開催されています。（講座の概要は、別載のとおりです。）

【平成27年度の開催（予定）会場】

	開催日	地区	開催地	会 場		開催日	地区	開催地	会 場
1	4月20日	337-A	福岡市	アクロス福岡	24	11月2日	334-A	名古屋市	キャスルプラザホテル
2	5月9日	336-B	岡山市	岡山ロイヤルホテル	25	11月2日	333-C	千葉市	千葉県経営者会館
3	6月5日	337-C	波佐見町	波佐見町総合文化会館	26	11月3日	334-D	富山市	ポルフォートとやま
4	9月26日	336-C	広島市	広島県庁大会議室	27	11月6日	336-D	山口市	山口市セミナーパーク
5	9月27日	335-C	京都市	ホテル（学生）	28	11月9日	331-C	小樽市	小樽市民センター
6	9月28日	332-D	郡山市	郡山ユラックス熱海	29	11月16日	332-B	盛岡市	いわて県民情報交流センター
7	10月3日	333-B	宇都宮市	護国神社	30	11月22日	337-D	浦添市	浦添市立浦添小学校
8	10月5日	331-A	札幌市	かでの21	31	11月25日	332-F	大館市	J A メモリスあきた北
9	10月7日	330-B	横浜市	横浜情報センター	32	11月26日	330-A	渋谷区	リビック青少年センター
10	10月10日	333-E	土浦市	土浦市民会館	33	11月27日	334-E	松本市	長野市 生涯学習センター
11	10月13日	337-B	大分市	大分センチュリーホテル	34	12月1日	336-D	出雲市	出雲市民会館
12	10月14日	337-B	宮崎市	JA AZMホール	35	12月7日	337-A	福岡市	アクロス福岡
13	10月16日	334-C	静岡市	静岡市・グランシップ	36	12月10日	335-C	京都市	リーガロイヤルホテル京都
14	10月17日	333-E	日立市	日立文化センター	37	1月24日	336-B	伊予市	ウェルピア伊予
15	10月20日	333-A	三条市	三条市リサーチコア	38	1月24日	337-D	石垣島	ホテルミヤヒラ
16	10月23日	335-A	神戸市	兵庫県労働福祉会館	39	2月6日	336-A	徳島市	徳島県建設センター
17	10月24日	336-C	福山市	結婚式場ホール	40	2月7日	336-A	高松市	サンルート瀬戸大橋
18	10月26日	334-B	津市	三重県庁講堂	41	2月15日	335-D	大阪市	ホテル日航大阪
19	10月27日	334-B	美濃加茂市	岐阜県中濃総合庁舎	42	2月16日	332-E	山形市	山形県高度技術開発センター
20	10月28日	330-B	与野市	与野市民会館	43	2月22日	332-C	仙台市	せんだいメディアテーク
21	10月29日	330-B	甲府市	山梨県男女共同参画センター	44	3月5日	336-B	倉吉市	県立倉吉福祉文化会館
22	10月31日	331-B	旭川市	ホテルラッソグランデ旭川	45	3月19日	332-A	青森市	青森市観光物産館アスパム
23	11月1日	336-A	高知市	高知県立大学構内					

啓発資材のご案内

当センターでは、次のような啓発資材を頒布しています。皆様のご利用をお待ちしています。

◆冊子・ポスター・リーフレット等

(送料：実費)

	品 名	最低 注文数	価格 (税込)	備 考
1	健康に生きよう	10冊	1,030	B5判 28頁 中学生向け
2	愛する自分を大切に	10冊	1,030	B5判 20頁 小学生用向け
3	薬物乱用防止マニュアルQ & A	10冊	1,550	B5判 37頁 高校生用向け
4	薬物乱用防止教室推進の手引き	10冊	1,550	B6判 113頁 薬物乱用防止教室開催のハンドブック
5	機能と役割	1冊	515	B5判 96頁
6	これだけは知っておきたい薬物乱用の知識	1冊	515	A5判 145頁 指導者の手引書に有効
7	リーフレット	100部	1,130	A4サイズ (3つ折り) 団体名刷込は3,000部以上 (刷込費用不要)
8	3D下敷	20枚	1,130	A4サイズ 団体名刷込は2,000枚以上 (刷込費用不要)
9	クリアファイル (限定版)	10枚	1,550	A4サイズ 団体名刷込は2,000枚以上 (刷込費用不要) 購入枚数別単価： ①10枚以上 @155円 ②100枚以上 @145円 ③1,000枚以上 @125円 ④2,000枚以上 @115円
10	啓発用キズバンソーコー	100個	1,550	Mサイズ (19×72)mm 2枚入り
11	薬物標本	1式	61,700	アタッシュケースに収納 (45×34×10)cm
	新薬物標本	1式	29,100	アタッシュケースに収納 (42.5×25×6)cm
12	危険ドラッグパネル (4枚組) A2	1式	47,520	A2サイズ (594×420)mm
13	啓発活動用パネル (10枚組) B2	1式	162,200	アルミ枠付 (51.5×72.8)cm
14	啓発用DVD	1枚	2,060	

◆啓発用DVD

(送料：実費)

番号	作 品 名	製作年月	上映時間	備 考
44	「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用は人をダメにする！	平成24年8月	15分	
45	薬物乱用はダメ。ゼッタイ。～脳を科学する～	平成25年6月	15分	
46	「ダメ。ゼッタイ君」と「ダメ。くま君」の薬物乱用防止教室	平成26年7月	15分	
47	危険ドラッグは“毒”だ！	平成26年9月	15分	
48	愛する自分を大切に！ 薬物乱用はダメ。ゼッタイ！ (内容)「ダメ。ゼッタイ君」と「ダメ。くま君」の薬物乱用防止教室 パート2 薬物乱用はなぜ「ダメ。ゼッタイ。」なのかと危険ドラッグの恐ろしさと共に、何が入っているか分からないなどを説明します。	平成27年6月	15分	

ご注文はホームページの購入申込書をプリントアウトしたものでFAXにて承ります。

(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

電話. 03-3581-7436 FAX. 03-3581-7438 アドレス. <http://www.dapc.or.jp>

ご 寄 付 団 体 及 び 賛 助 会 員

平成27年8月7日から平成28年2月15日までに、当センターにご寄附いただいた団体及びご入会いただいた賛助会員は次のとおりです。ご協力ありがとうございました。

〔ご寄付団体・個人〕

田 口 佳 澄 様	平 古 場 潤 様
東京代々木ライオンズクラブ 様	一般社団法人 日本薬局協励会 様
ヤンセンファーマ (株) 様	武 田 薬 品 工 業 (株) 様
大 日 本 住 友 製 薬 (株) 様	塩 野 義 製 薬 (株) 様
久 光 製 薬 (株) 様	第 一 三 共 (株) 様
テ ル モ (株) ホスピタルC 様	協 和 発 酵 キ リ ン (株) 様
田 辺 三 菱 製 薬 (株) 様	藤 本 製 薬 (株) 様
祐 徳 薬 品 工 業 (株) 様	帝 國 製 薬 (株) 様

〔個人賛助会員〕

今井 三和 様 (継続)	星 和夫 様 (継続)	篠 順三 様 (継続)
杉原 省吾 様 (継続)	山下 醇一郎様 (継続)	宗万 真弓 様 (継続)
吉田 哲也 様 (継続)	梅本 泰寛 様 (継続)	花谷 義昭 様 (継続)
児玉 金之助様 (継続)	村島 吉豊 様 (継続)	清水 義勝 様 (継続)
渡貫 直正 様 (新規)	大屋 博 様 (継続)	辻川 明子 様 (継続)
河野 利光 様 (継続)	森瀬 宗忠 様 (継続)	小山 功男 様 (継続)
野原 則子 様 (継続)		



公益財団法人

麻薬・覚せい剤乱用防止センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-7-9 (第1岡名ビル2F)

TEL.03 (3581) 7436 ~ 7 FAX.03 (3581) 7438

ホームページアドレス <http://www.dapc.or.jp>



週末は、お好み焼食べようDay!



お好コミュニケーション。

そこには、お好み焼がある。

食べて、笑って、
明日の栄養にしよう。
恋も仕事もいろいろあるけれど、
みなでお好み焼を囲めば、不思議と気持ちが丸くなる。
きっと、明日もいい日がある。



介護付有料老人ホームと在宅福祉のご案内です。

八王子市暁町



●シルバーレジッド八王子

直下型地震にも対応
安心の免震構造

●シルバーレジッド日野東館



多摩モノレール
甲州街道駅徒歩1分!!

●シルバーレジッド日野



八王子市宮下町

●シルバーレジッド八王子西



八王子に隣接
救急指定右田病院

日野・日野東館に隣接
康明会
ホームケアクリニック

在宅福祉部

- 居宅介護支援事業所
シルバーレジッドいちょうの里
- 訪問介護事業所
シルバーレジッドいちょうの杜
- セカンドライフ応援倶楽部
シルバーレジッドいちょうの実

「ゆったりと安心の毎日」をお届けしています。
シルバーレジッド

パンフレットのご請求は

0120-19-0432

ホームページ **シルバーレジッド** 検索

株式会社シルバーレジッド 代表取締役会長 石井 征二(八王子陵東LC)

ファイト
イッパツ!



肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に…

リポビタミンD

指定医薬部外品 タウリン1000mg配合

〈効能・効果〉肉体疲労・食欲不振・病中病後・栄養障害・発熱性消耗性疾患などの場合の栄養補給。滋養強壮。
◎本品についてのお問合せは【お客様119番室】電話03-3985-1800 受付時間8:30~21:00(土・日・祝日を除く)
大正製薬株式会社 〒170-8633 東京都豊島区高田3-24-1 <http://www.taisho.co.jp/lipovitan/>

目の疲れ
Eye fatigue

肩こり
Stiff shoulders

腰痛
Lower back pain

首すじのこり
Stiff neck



つらい人ほど、実感できる。

目・肩・腰に効く。
さらに、
首すじにまで効く。



特につらい症状を感じたら。

アリナミン[®]
EX GOLD

アリナミンEXゴールド：つらい目の疲れ、肩・首すじのこり、腰の痛みに、15歳以上1回1錠、1日3回食後すぐ服用。〔第3類医薬品〕

武田薬品工業株式会社 東京都中央区日本橋2丁目12番10号 〒103-8668
「お客様相談室」フリーダイヤル 0120-567-087 受付時間 9:00~17:00(土・日、祝日を除く)

アリナミン

検索

